京城日報

五日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直介
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

總督訓示

四日總督官邸に於て郵便局長、海事出張所長等に對し山縣政務總監の代讀せる總督の訓示左の如し

今回各位の會同を機とし所思の一端を告ぐることを得るは本總督の欣幸とする所なり

惟ふに遞信事業の振否は一國の文野強弱に關係すること至大なるを以て之が運用の任に膺る者は宜しく先づ其責任の重大なるを自覺し事務を處する敏活正確公衆に接する親切丁寧以て事業の伸展を圖るに務む可し

郵便所は地方通信機關として極要なる地位を占むるに拘はらず其事務は概して成熟の域に接せず是れ甚だ遺憾とする處なり監督の責を負ふ各位は部下と共に毎に之を誘掖指導し所務の執行上遺漏なきを期し因て以て地方通信の便益を發揚せんことを望む

朝鮮人郵便貯金の預入年々增進の傾向あるは喜ぶ可き現象なりと雖も貯金の目的を眞正に會得するもの極めて少なく其多くは官憲の勸誘に依り漫然預入するものに係り各位は區內郵便所長及び部下當務者を監督指導し一層貯金の奬勵に意を注ぎ一面預入員數の增加を圖り一面其預入を繼續せしむることに力を竭し以て勤儉貯蓄の本旨を十分に徹底せしむ可し

朝鮮に於ける海運業は海事行政の整理に伴ひ漸次振興の機運に向へりと雖も將來船舶海員の充實を圖り海上輸送の獨立を期せんには前途尚頗る遼遠なり各位は能く此旨趣を體し鋭意努力之が助長の方途を講じ益々斯業の發展を企圖せんことを望む

海官廳の事務は多岐なるも其目的とする所は畢竟海上に於ける交通機關に保障を與へ其進歩發達を助成せしめんと欲するに外ならず各位は每に此に留意し其事務の處理に就ては愼重親切嚴正公平以て其目的を貫徹せんことを要す

歐洲大戰は年月を重ぬるに從ひ其影響する範圍擴大し關係する所亦倍々複雜ならんとす此の時に方り戰時に直接又は間接の關係を有する遞信事務に從事する者其責任の平時に比し數段の重きを加ふるものあるや言を俟たず各位は此際一層の努力を以て部下職員を督勵し事業運用の迅速正確を期すると共に其取締を嚴重にし監督措置上萬遺漏なきを期す可し

清帝熱河に移居か

張勳氏は宣統帝を熱河に移し奉るに決せりと傳へらる(北京電報)

豫算討議に入る

衆議院に於ける各豫算分科會は四日を以て質問完了せるにより各派態度決定の上五日各分科會にて討議茲に愈々其確定を見るべし(東京特電)

會期延長の必要なし 政友會の反對

四日政友會代議士會席上臨時議會の會期延長は必要と認めざる旨元田總務より言明せり(東京特電)

政友政務調査

政友會は四日午前九時より本部に於て政務調査會を開き政府提出に係る郵便貯金法中改正案及び北海道拓殖鐵道補助法中改正案及北海道殖民資金利子支拂に關する法律案に就き協議の結果何れも是認する事に決せり(東京特電)

官鹽販賣權獲得 鈴木商店新事業

鈴木商店鹽業部の新事業として朝鮮總督府官營製鹽販賣權全部を獲得するに至り既に大藏當局との間に契約成立せり(大阪特電)

支那の政局 在東京 一記者

▲去一日、支那宣統帝復辟を宣示し立憲君主政體を布くの上諭を爲したるは、其事突然にして、頗る世間の耳目を驚かしたれども、此度の事は張勳氏其主力にして北方復辟論者共事に與かり、機會の熟するを見て、此擧に出でたるものにして、支那にありては、是れ亦、自然の勢ひに出るものたらざるべからず。

▲今日、世間囂々として、復辟の成功すべきや否やを論ず、然れども復辟の成敗を議するに先ちて、支那の共和政治の失敗せる事實を檢證するの必要あり、支那人民は、清朝傾覆の後を承けて、共和政治を塗造するに務めたれども、其の國情に適合せざること甚だ明白にして、共和民國の一の總統たる袁世凱氏は、遂に自ら帝政を行はむとするに至る、其事は失敗に終りたれども、是れより支那人民を通じて、共和政治の支持、甚だ困難を悟るに至る、所謂復辟運動なるものは、則ち此袁氏帝政計畫に胚胎せられて、其勢ひを成し來れるものにして、北方官僚派軍人派の間に、其根蔕甚だ深因なるものあり、袁氏世を去りて後は、嘗て袁氏の爲めに、帝政運動を助けたるものすら、淸朝再興運動に投合して、其擧勢を助くるといふ次第にして、共和政治の弱點に投して、敎育し來れるものは、此復辟運動者なり。

▲且袁氏世を去りて後、黎元洪氏大總統の地位に立ち、南方民黨を基礎として、其局に當るといふも、民黨は單に、國會に在りて口舌を弄するに止りて、政治上の勢力は、皆無と云ふを妨げず、支那の政治界は、南北相對時して、其形を成すと云ふも政治實權は常に北方官僚派及び武人にあり、黎總統は只手を拱して、其制を受くるといふ有樣なり、過日段祺瑞の職を奪ひたるは、一種のクーデターにして、世人黎氏の大英斷なりと爲す所なれども、黎氏は段氏を罷免したるだけにて、其後任を擧ぐる能はず、徐世昌王士珍諸氏に就職を乞ふも容れられず、遂に復辟運動の張本たる、張勳氏の助力を乞ふに至る、張氏乃ち、軍隊を率ゐて北京に向ひ、先づ黎總統を強要して國會を解散せしめ、李經羲氏をして內閣組織の事に當らしめつゝ、徐ろに形勢を見て此度の事に及ぶ、蓋し南方民黨を以て、無能無力、復た爲すあるに非らずと認め、此に復辟を決行するに至れるものにして、支那の共和政治が其實を失ふや久しく、共和政治自然消滅の狀あるに乘じて、復辟運動者、其事を擧げたるものと謂はざるべからず。

▲今日、宣統帝復辟を宣言したるだけにて、新政府すら未だ確立せざるを以て、其成敗を論ずるは尚ほ早きに過ぐ、或は南方諸省は北京政府に反抗して獨立すべしと云ふものあり蓋し然らむ、倘方獨立といふの如きは、復辟經營者の豫期する所たるべしと雖も、吾人は寧ろ、張勳氏が能く、北方諸勢力を統一し得るや否やを懸念するものなり、今日突如として、宣統帝復辟を宣布さるゝも、南方諸省此に承服せざるや論なく、南方抗爭に續ぐに南北妥協を以てし、多くの曲折を經るにあらざれば、支那の一統を見る能はざるは、智者を待ちて而して後に知るを要せざる所なり、只北方有力者とても悉く張勳氏と相和同する者と云ふ能はず、難しく復辟論者といふも、其中には張氏と相容れざるものあるべくして、新政府設立の困難は主として此點にありと知るべし。

清朝新任諸官

清朝復辟に際し上諭を以て發表せられたる新任諸官左の如し(北京)

內閣議政大臣	張勳
同	王士珍
同	梁敦彥
同	劉廷琛
同	袁大化
同	張鎭芳
內閣閣丞	萬繩栻
同	胡嗣瑗
外務部尚書	梁敦彥
度支部尚書	張鎭芳
參謀部大臣	王士珍
陸軍部尚書	雷震春
民政部尚書	朱家寶
著任近畿臨時代理	吳炳湘
弼德院院長	徐世昌
同副院長	康有爲
直隸總督北洋大臣	張勳
兩江總督南洋大臣	馮國璋
兩廣總督	陸榮廷
直隸巡撫	曹錕
江蘇巡撫	齊耀琳
安徽同	倪嗣沖
山東同	張懷芝
山西同	閻錫山
河南同	趙倜
江西同	李純
湖南同	譚延闓
浙江同	楊善德
湖北同	王占元
廣西同	譚浩明
廣東同	陳炳焜
福建同	李厚基
雲南同	唐繼堯
貴州同	劉顯世
新疆同	楊增新
甘肅同	張廣建
奉天同	張作霖
吉林同	孟恩遠
黑龍江同	許蘭洲
四川同	劉存厚
陝西同	陳樹藩
熱河都統	姜桂題
綏遠城都統署理	王丕煥
察哈爾都統	田中玉
江北提督	王廷楨
江南提督	盧永祥
長江水師提督	張敬堯

復辟の前途

這般復辟斷行に對する張勳氏の電告が張奉天督軍の許に到達したるは三十日午後十時前後即ち斷行前僅に三四時間に過ぎず從つて張督軍が此の計畫に何等參與せざるを知る可し張作霖氏は過般督軍團の主唱者の一人にして張勳氏とは常に聲息を通じ行動を同うし又復辟策に對しては段祺瑞氏と趨向を共にし來り前に奉省兵を天津に出動せしめたる際の如き我れ率つて復辟を實現せしむ可しと豪語したる事あり張作霖氏は隱れなき北洋閥帝政黨の驍將なるに此の張氏にすら喩商せざりし點より觀て張勳氏は宣統帝復辟の大事を單に在京の王士珍、江朝宗、吳炳湘、康有爲の諸氏に謀り段祺瑞氏にも何等商議する處なく咄嗟の間に之れを斷行したる者なる可く從つて其前途は甚だ寒心す可きものありと觀測する者あり暫く一說として掲げ置かん(奉天)

電報收入好調

遞信局調査を聞くに五月中の朝鮮全道電信收入は商況活氣を呈したるため八萬一千八百圓を計上し之れを昨年に比し三萬圓を增加し居れるが從來一箇月八萬圓以上の電報收入を擧たる事は朝鮮としては大正五年十二月幷に本年五月の二月に止まる由

內地電報遲延 大阪下關間不良の爲め

東京、京城間直通電信線は風雨の爲め五日朝來大阪、下關間の電信線に不良の個所を生じ午後二時過ぎ漸く復舊するに至りたるも之が爲め電信甚だしく輻輳せるを以て一般に延着を免れざるべく本紙の新聞電報も終に大阪以東の分は夕刊締切の間に合はざりき

電信線の復舊

三日來の豪雨出水にて故障を來し不通となりゐたる東京、京城電信線、京釜線、京城大阪線、京城忠州線、京城光州線、京城大田二番線、仁川木浦線は當局にて其復舊開通に鋭意盡瘁せし結果何れも四日午後相前後して開通せり但し電報の輻輳著しきに付當分平時に比し若干遲延を免れざるべしと

鮮鐵罷業說虛說

朝鮮鐵道局にては去月末所屬判任官以下職員に對し滿鐵と合一後の待遇方に關し內示の上就任諾否の回答を徵したるに就き一同內議し多少の論議ありたるは事實なるも內地二新聞の傳ふる同盟罷業計畫と言ふが如きは全く何等かの誤聞に過ぎず多數職員の繼續就任すべきは疑ひなき處なりと聞く

昌德宮慰勞宴

李王殿下には先般の御東上に直接間接關係ありし文武諸官を六日午後零時三十分より昌德宮仁政殿に召し御慰勞の意味にて午餐の御饗應あるべく李堈公殿下山縣政務總監秋山軍司令官立花師團長大庭、國分、宇佐美、小原、持地各長官古海總長白水參謀長荻田局長遠藤秘書官等並に關係長官國分次官尹德榮子尹澤榮侯以下隨從高等官等總計百餘名招待ありたり

持地長官指示 持地遞信局

長官は五日午前九時より十一時まで會議に列席せし朝鮮各主要郵便局長、管掌、郵便局技師に對し事務上の指示及び內示を與へ午後は一時より海事出張所長に對し同じく指示及び內示をなしたり尚以上を以て會議は全く終了せしに付列席者は六日より夫々歸任すべし

米國文士來鮮

紐育市のクルーア、マガジンの發行主にして米國言論界の名士なるマクルーア氏は朝鮮視察の爲め四日東京出發の旨其の筋に電報ありたり

◎齋藤大尉赴任期 憲兵隊司令部附より大尉に陞進し元山分隊長に補せられたる齋藤安二氏は來る十三日頃赴任すべく後任は江原道警務部副官中周澤辰三郎氏にして五日午後著任せり尙古屋元山分隊長は停年滿期退職したり

◎八道主計正出張 軍司令部八道二等主計正及び弘中一等主計は會計及び經理檢査の爲め咸鏡北道地方へ出張を命ぜられ來る十五日龍山出發八月十日歸任の豫定なりと

◎近藤主計出發 京畿道憲兵隊附より名古屋第六聯隊附に轉任を命ぜられたる近藤主計は五日午後七時五十分南大門驛發列車にて赴任の筈

◎仁川商議書記長 理事廳時代より十餘年間仁川府廳に勤續せる岡本保誠氏は今回仁川商業會議所書記長に決定し近く發表を見るべし

◎京畿係主任會議 京畿道にては五日午前九時松永長官室に各係主任全部會同し恒例會議を開催し一般事務の連絡其他に關して打合を爲せり

湖南より

五道踏破旅行記者 李光洙

◇裡里より輕便鐵道にて、二日午後全州へ到著候。途中小生が興味を惹きたるは、全州一帶の山の形狀の秀麗なることにて候。一擧一措、何も俗味を帶びざるなく、實に全州は山で持つと申度候。道、郡參事、青年俱樂部員其の他の有志に迎へられ、銀杏屋なる旅舘に投宿致候。出發以來斯かる歡迎を受けたることも始めてなれば、斯かる立派なる旅舘に威勢よく乘込みたるも始めてにて候。正直の所、一生始めと申すべきにて、そゞろに怖氣さすも無理ならぬことに候。八疊の間、蚊帳の中に十日以來始めての安眠を貪り、今朝十時道廳に李全北道長官を訪問致候、如何にも温厚にして愛嬌たつぷりの老紳士にして親切に種々と御說明被下候、就任尙日淺きを以つて、本道の事情に暗き旨を、冒頭に謙々と語らるゝこと約二時間、得る所實に夥多にて候。

◇有名なる全北の平野を有することて本道に於いて、尤も力を致すは普通農事の改良なり、水利を整理し種子の撰擇及び耕作方法の改良、其の宜しきを得ば、優に二倍の增收を得べし、而して現に着々進行中なれば、十數年を出ですして、其の實現を見るべしと、確信ある口調にて語られ候。現在道內に四個の水利組合あり、漸次擴張又は增設あるべく、殊に注目すべきは此等の事業が、朝鮮人によりて立派に經營せらるゝことにして之に依りて見るも、朝鮮人が如何に覺醒しつゝあるかをトし得べしと申され候。

◇次に重きをなすは、養蠶の奬勵にて五年以內に道內のみにて、約三萬石の繭を產せしむる豫定なる由にて候。小作人の窮狀を救ふは、副業に依るの外なく、副業の中には養蠶に優るものなし、五年以內に全羅北道をして養蠶の道たらしむべしなど、其の意氣不可當に候。

◇次は製紙業なるが、本道は朝鮮第一の產紙地にして、朝鮮紙は滿洲に對する朝鮮輸出品に於いて、重要なる位置を占む、本道に於いては益々其の發達を圖らん爲め、一面原料の栽培を獎勵し、一面模範製紙場を起して從來なる原始的なる製造を、機械工業的になさんとす、日尙淺ければ、未だ顯著なる成績なきも、漸次成功に近かんことを期すと語られ、一寸左の眉を釣り上げて、微笑まれ候○(此稿未完 七月三日午後四時全州にて)

忠清南北の水害

四日以來の豪雨にて午後四時錦江の增水量二尺餘に達し道路橋梁の流失破損の爲め道路線路とも交通杜絕し多數の被害ある見込なる旨忠南道長官より其筋に電報あり又忠北管內は四日は百六十七耗の降雨あり之が爲め交通杜絕農作物の被害少からざる見込なる旨忠北道長官より同樣公電ありたり

全裡間輕鐵不通

全州裡里間の全北輕鐵は四日大雨出水のため不通となりしに付遞信局にては不通中其の區間の馬車遞送を行ふべし

中鮮挿秧完了

用水不足を訴へ挿秧難を告げゐたる京畿黃海江原三道の中部朝鮮は去る三日迄の所植付完了面積は五割內外に過ぎざりしも同日以降の雨故多少かりしため目下の所約九割五分方挿秧し得るに至り所在の農民は切りに植付を急ぎつつあるため其一小部分を除く外稻苗の移植は殆ど遲れかるべし但し今後の天候にして日射強く且つ降霜著しく遲るれば兎に角然らざる限り約二十日の植附遲延となり居れるに付二三割の減收は免れ難かるべしと

漢銀營業成績

株式會社漢城銀行上半期營業成績は頗る順境にて同行當局者の語る處に依れば諸所有物消却及び未經過割引料並に利息繰越を合せて金七萬五千餘圓を引去り當期純益金六萬五千七十五圓九十二錢に前期繰越金一萬一千八十七圓十九錢を計上すれば當期利益金は七萬九千一百六十三圓十一錢となる由にて株主總會は來る二十五六日頃に之れを開き利益分配の決議を爲すべき答なり因に同行の諸預金は三百十三萬一千四百二十八圓、諸貸出金は三百二十四萬五千二百五十七圓にして前期に比すれば預金に於ては七十一萬五千七百三圓、貸出金に於ては十九萬五千八百三十圓の增加を見るに至れりと

農銀重役會

滿洲農工銀行にては五日樓上に重役會議を開き大正六年度前半期決算案について附議する所ありしが其の株主總會は來る二十七日開會すべしと

滿洲水田有望

從來滿洲に於ける需要米は朝鮮より輸入され每年巨額に達したるに近年滿洲產米の增加と共に鮮米輸入漸次減少しつつあり即ち大正三年度に於て安東縣より輸入せる鮮米三十萬石は昨五年度に於ては十萬石に減じ今後益々減少すべき傾向あり是れ滿洲水田業は有望なりと謂ふを得べし而して安東縣附近は頗る水田に適する土地多く從つて精米業は確に田地に於ける有利の事業とせらる現在該地同業者等は精米の販路として滿洲の中心たる奉天に注目し同地との聯絡を取るに汲々として現に渡邊支店其他有力商店にして奉天に支店を開設せんと計畫せるもの多しと最近滿洲歸客は語れり

燐寸製造と滿洲

目下日本燐寸は滿蒙に於て獨占の姿なるが日本內地に於ける燐寸製產は昨年來軸木たるべき木材の缺乏せると船腹の不足其他の關係にて輸送澁滯せる爲め各工場共一齊に其製造を手控居れり然るに滿蒙に於ける燐寸の需用は現下益々增加の一方にて數年前邦人により吉林に設立されし吉林燐寸製造會社製品の如きは次第に販路を擴張し單に奧筋地方のみならず今や南下して開原を席捲せるの有樣なるより內地製造業者等は早くも滿洲に於ける燐寸製造の甚だ有望事業たるに著目し過般來奉天に入込みて精細調査に從ひ居る向も尠からず(奉天)

咸北道廳移轉覺書 咸北

咸北道廳移轉に關し桑原道長官は之を鏡城官民に公表し且つ覺書を交附せる事既報の如くなるが右覺書中脫漏したる箇所あり重複を厭はず更に其全文を掲載すれば

一、咸鏡北道廳、警務部、慈惠醫院、警察署の羅南移轉時期は大正八年十二月とす
二、羅南市街經營に關しては大正六年度より地方費事業として著手し該期日迄に施行普通時機に於て西の事業に移す
三、市街經營事業に關し兵營其他軍用地を引受け道路下水道工事を施行す
四、總督府に於ては左の事業を實施する筈
(イ)道廳、警務部、慈惠醫院、警察署の廳舍官舍の新築及び增築を大正七年度同八年度に於て施行せらるゝ事
(ロ)鏡城公立簡易農業學校を擴張して大正七年度より公立農業學校に變更する事
(ハ)慈惠醫院に於ては日を定めて醫員の出張診療を爲す事
五、道廳移轉後の鏡城善後策
(イ)種苗場及苗圃は現狀の儘存置する事
(ロ)羅南川護岸其他附帶施設たる大正七年度以後三箇年に於て施行せらるゝ事
(ハ)以上の外尙鏡城今後の發展策に就ては攻究中に屬し今具體的に發表するの運に至らず
六、鏡城より羅南に移住する者に對しては土地の購入家屋建築用材の拂下及移轉費用の借入等に付相當の便宜を與ふる見込みなり

御嶽丸解傭

昨年滿鮮連濟輸送荷物の增加すると自然釜山埠頭に滯荷する事頻々たるにより鐵道院にて關釜間に荷物專用運搬の爲め御嶽丸を傭し運搬なしつゝありしが同船は愈々六月三十日限を以てチャタ一期間滿了に付一先づ解傭する事に決したるが同船は函館の持主に向け航行せり尙同代船は未決定なるも何れ傭入るゝ運びに至る可しと(釜山)

仁川

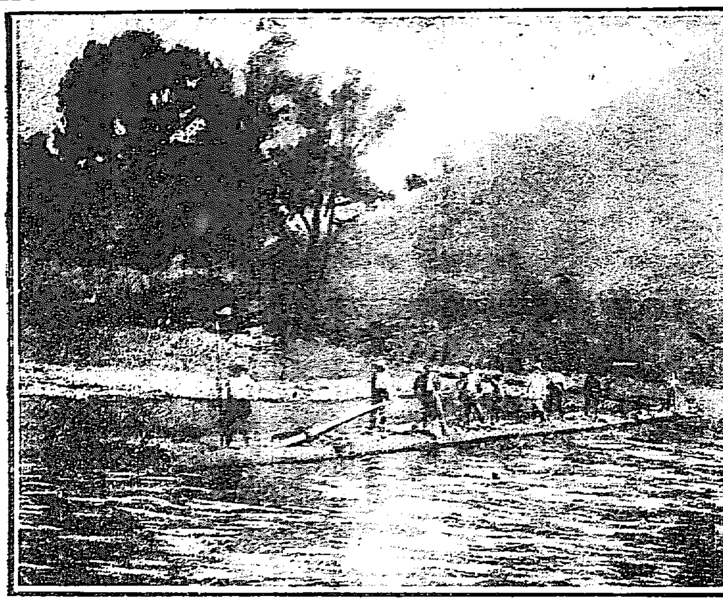
▲繭買上好成績 既報の如く仁川警察署にては六月中旬より繭買上を開始したるが其當初は一般に對する周知徹底せざりし爲め成績良好ならざりしも日を經るに隨ひて漸次增加するに至り六月中に於ては合計六斗三勺の買上をなし七月に入りては急に增加し四斗三升一合五勺の買上を見るに至れり因に降雨多く蠅の蕃殖著しきを以て此際市民は極力蠅の驅除に勵められたし

人事消息

▲池田九一郎氏(伊藤長鐵山部員) 五日朝發京
▲川上幸氏(大阪朝日社員) 同上
▲中西喜久雄氏(平安農工銀行員) 同上
▲松本庶晉氏(鐵山業) 同上
▲白井水城氏(辯護士) 五日入京
▲岩井長三郎氏(總督府技師) 元山咸興滯在
…城羅南會寧に出張を命ぜらる

急告

從來忠州の京城日報及び每日申報販賣は金谷雅城をして取扱はしめ居候處今般都合に依り
忠州本町 大石長作
に變更し廣告等の事務をも取扱はしめ候に付此段急告候也
追而金谷取扱當時の未濟金は一切同店に御支拂下さる樣願上候
合資會社 京城日報社



綠樹の蔭深き中を下る筏

鴨綠江節 筏ローマンス (三)

◇◇筏は悉く破壞する◇◇
◇◇戰慄すべき大洪水◇◇

洪水は筏乘の最も恐怖する處だ水源地の深く嶮しい鴨綠江の洪水は奥地に豪雨が有ると下流地方は晴天續きであるのに俄かに大洪水が氾濫し山を崩し丘を沒するやうな例が少くないソラの洪水なども此の例を語るものである、洪水が來ても下流の緩勾配地方であれば危險も少ないが兩岸の高い川床の急勾配な上流地方で洪水に逢ふと筏は悉く破壞される恐くすると筏夫は岸に逃げ上る隙さへも無いそれ故彼等が洪水に對する警戒は非常に嚴密である夏期になつて上流の方の森の上に頑苦しい雲が毎日漂つて居ると、それを彼等は洪水の前兆と見て居る營林廠では沿岸各地へ電報を發して筏の警戒をするが時に洪水は電報よりも早い事がある何時も清んで奇麗な水の上に細かな木の皮や朽ちた木の葉などが流れて來ると彼等はすぐに岸に上つて筏を其の邊の岩か幾本もの大木へ丈夫の綱でしつかりと繋ぎ止めて終う黄い泡や木の皮朽ちた木の葉などが流れて來るとその

大蛇が獲物を▲

▼後から遁ぐ恐るべき洪水は
▼逐ふて來るやうな勢で唸り

を立てゝやつて來る兩岸の青葉はザワ〱と戰ぎ慄へて逆卷き落つる濁流は岩を倒し大木を根こぎにして狂奔する命がけで繋ぎ止めた筏も斯うして荒れ狂ふ洪水に飜弄されて居る内に岩が流れて當る大木が倒れ懸る して遂に毀れて流れ流れては次へ次へと下流に繋いだ筏を破壞してゆく支那人の筏などは往々

百里も流され▲

▼一家族乘つた筏も一日に
▼目が回つて血を吐いて筏の

上に枕を並べて死んで居る者や筏が毀れて親子夫婦分れ〱に放つて呼び交はしながら流れて行く者なども ある四十四年の洪水の折などは江口から十七里の間だ水が見えぬ程壞れた筏が漂つて其の上には半死半生の筏夫が其處にも此處にも倒れて居るのが岸から見えるが流れが激しいから救ふ事が出來ぬ筏の木材には夫れ〱所有者の刻印が捺してあるから洪水が減けば附近の者は船に乘つて流木を收拾する鴨綠江口の龍岩浦あたりには毀れた筏を拾ひ集めて所有者から相當の報酬を取る事を一年中の職業に爲て居る者が非常に多い

命知らずの男▲

▼斯う聞いて來ると筏乘りは
▼でなければ勤まらぬ程危險

の仕事で其の生活は陰慘な地獄生活のやうに思はれるが決してさうばかりでもない、平素の彼等の仕事は至つて呑氣である涼しい青嵐に小鬚を吹かせながら夕方に成ると栗の花の甘く咲き匂ふ岸の宿に着くと筏を繋ぐ間も遲しと陸に上れば

肌の荒い女が▲

▼其處には山風に小鬚く
▼鹿の子まだらに白粉を塗り

付けて待つて居る尻からげのまゝで莚の上に胡坐を組むと濁酒に嚴の壁煮川魚の乾物が並べられる『朝鮮で一番高いは白頭山、峰の白雪消ゆるとも、消えはせぬぞへ妾が胸』夜毎また『お前の夢ばかり』

朝は早く川霧▲

▼岸の女に別れて巧である
▼の中から筏師が流れて下る

茜さす旗は日の丸筏は丸太流す乘夫は猛者の何んなく難所を流下して『明日はまた高山鎮に著くばかり』と其の聲は勇ましく其の節は樂しい

●増水廿尺

五日午前七時頃龍山元町四丁目下に於て漢江の増水二十尺を示し尚増水しつゝありしが午後二時は一尺の減水を示せり

●錦江一帶の水害 公州廿二尺増水

忠淸南道方面は三日來の豪雨にて錦江は四日午前六時江景に於て十五尺同九時公州に於て二十二尺増水、論山川亦増水十三尺に達し論山公州間交通杜絶す同地停車場附近に於て一名の溺死者あり又大田附近に於ては河川汎濫市内に浸水し内鮮人家屋五十六戸流失す其の他同管内一般に道路橋梁の破損多き見込なり(共同通信)

●大田の豪雨 浸水家屋百廿一戸

大田地方に於ては去る二日午後六時頃より降雨あり同夜は降りみ降らずみの五月雨模樣なりしが翌三日は午前中より間斷して多量の降雨を見し午後五時頃より土砂降と變じ大田川の増水著しく日の暮れる頃よりは愈々益々降りしきりて各河川は何れも濁水滔々として白馬の躍るが如く光景轉た悽慘なりしを以て大田警察署に於ては萬一を警戒し署員を八方に派し傍ら

▲消防組に出動を命じて大いに警戒を加へたるにも拘はらず、各河川の増水は刻一刻に加はり、殊に本町一丁目より二丁目に通ずる本町橋附近は橋下四五寸に達し又同一丁目千歲旅館前の氏雄橋も殆んど橋を浸されて危險甚しと見る間に本町一丁目の本社支局北方二三軒目某氏宅後方の堤防より濁流は滔々として横溢し始めたれば各商家の騒擾一方ならず或は商品を片付けるもの疊を揚ぐるもの濁流を流さるゝものと相前後し

▲警官消防組 各見舞客の提灯は車軸を流すが如き豪雨の中を東西南北に奔騒する光景愈々悽慘を加へたるが午後十一時半頃に至り雨は小歇みとなりたる爲め大したる被害もなかりしが本町一丁目のみにても床下の浸水を受けたるもの四十戸に達し又新京町方面一帶の窪地も濁水漲つて一面の泥濘と化し約四十戸に浸水し木尺臨に於ても大田川の氾濫に依りて約四十戸浸水を見たるも人畜の死傷を見るに到らざりしは不幸中の幸ひなりと云ふべく又

▲大田橋附近 の一帶の地は川床の深きと土地低からざりし爲め大なる浸水を見ざりしも湖南線の河岸に於ては河水の溢れする迄には約五寸位に過ぎざりし爲め一帶の住民は戰々恟々たるものありしが是又幸にして降雨量減じたる爲め自然に減水を見たり其他大田附近に於ては堤崩れ田畑の被害等少からざる模樣にて其筋に於ては目下極力調査中なり(四日午後大田)

●芙江の水害 増水二十五尺

芙江憲兵隊の報告に依れば錦江の増水二十五尺(此間不明)附近とは交通杜絶し市内には浸水なし田畑の浸水約四町歩其の損害五十餘圓、道路の破壞せるもの四、長さ三十間埋沒流失二、長さ三十間損害三百圓、其の他多數の被害あるべき模樣なり

▲淸州道路破壞 芙江淸州道路五里二丁の間にて破壞流失せる中の重なるものは芙江市内を距る約三丁の木造暗渠十間餘破壞し車馬の往來不能となれり(淸州特電)

●安平丸沈沒 山東角に於て

芝罘來電=上海より芝罘に向け航海中の安平丸(一、一五九噸)は三日山東角附近にて暗礁に乘り上げ沈沒せり(大阪特電)

●舞子を揶揄ひしとて 路上の狼籍 大尉重態に陷る

四日驅逐艦霧島乘組二等水兵鳴尾常次郎外二名は相伴ひて吳市中を通行中偶々中主計内山敬治、機關大尉前川謙吉の兩氏が私服にて舞子を連れ歩くに出會ひし際鳴尾等が舞子を揶揄ひたりしが同人等は前川大尉が生意氣なりと怒鳴りたるを背負投げに投げ付け重態に陷らしめたり(大阪特電)

●姉妹の投身

▲憎まれるを苦にして 富山縣射水郡浅井村大橋芳江(一二)中橋かつみ(一三)の二少女は成績優良なる爲め他の生徒の憎みを受け居るを苦にし終に兩人相抱いて四日學校裏手の用水池に投身溺死を遂げたり(大阪特電)

●電車と地均車の衝突

五日午前七時頃京城電氣株式會社の光熙門行七十五號電車が黃金町二丁目にて地均運轉中のルーラーあるを見て衝突を避けん爲め一應停車し後發車せんとしたるに運轉し來れるルーラーが後部の車掌臺に衝突して破壞されたるも乘客は異狀なかりしと

●老人の悲觀投身

高陽郡漢芝面水鐵里農[illegible]性昌(六〇)は長男の病氣重態なるを悲觀し去る二十三日夜無斷家出したるが數日前龍山の漢江岸に漂着し居るを發見せり[illegible]覺悟の自殺と知れ屍體は家人へ引渡す

●老婆の縊死

山口縣豊浦郡長府町字松小田當時鎮南浦龍井町萬湯通り居住無職松永フデ(五〇)は本年春以來病氣に罹り居たるが最近起居不自由となり日下殿栗居住の長男彌三郎に通知し同人の妻女集の介抱を受け居たるも妻女も姙娠にて此程松林病院に入院し食事其他通知等にも不自由を感ずるに至りたるより世を果敢なみたるものか午前二時頃自宅に於て縊死を遂げたり(鎮南浦)

●血を見るまで 淪落女の末路

◇◇◇殺される爲めに生れた◇◇◇

いさ子が、榮山浦の『日の出館』を出て京城に轉籍した、といふことは彼女が流轉の女となる端緒で、又延いて、今度の慘事を招くに至つた遠因だとも云へる、京城に來てからのいさ子に就ては、私は餘り多く語る資格を持たぬが、その後大分經つてから、何んでもドロンを極め込んで警察の手に取押へられた、といふ事を新聞で見、彼女がドロンを極め込むに至つた前後の經緯などを想像して荒みに荒んだ彼女の心情を憐れに思つたことがある。

回 それ以來、彼女の消息は分らなかつた、京城で不首尾を働いた後は牛膝の贓町から現れ、例の文藝を資物に花柳界の人氣を一身に鍾めて居る、と云ふ噂を聞いた事もあるが誕謗徒のやうに輾々する流轉の女―何處に何う轉んで行つたか分つたものではないと格別氣にも掛けなかつた、處が、突如として起つたのが今度の慘事である、冥土の途伴れ、無理情死二十何箇所の重傷！私は、愕然として驚くと共に、彼女の末路の悲慘さに、思はず同情の涙を濺がざるを得なかつた、

回 何の事はない、彼女は流轉に流轉を重ねた揚句、薄倖の兇刄に斃れるべく生れて來たのである、それも好いた男とでも云ふなら兎も角、嫌つて嫌つて嫌ひぬいた男から、無理に逆上させられた、といふのだから遣る瀨もない、汚れた肉體、荒んだ肉體にも何ほど紅い血は通つて居たらうに、去りとは悲慘な最期を遂げたものである、私は彼女の前半生を思ふて此處に至る時、思はず暗然たらざるを得ぬ 彼女は運命に呪はれたのだ(終り)

讀者文藝 (一等に五十錢 賞品を呈す)

下付つけ子を拵つた 數寧 すいは

▲乳房姑見付出し 京城 各海 和留
▲女優は急に人氣落 京城 しげる
▲傍に愛犬氣が狂ひ
▲ばかりに親が角を折り 新溪 門臨 紫浪

回一等なし

●久振の櫓太皷 ■千秋樂の日

四日は千秋樂の午後驟雨のため入掛となりしより連日降雨のため休場中なりし東京大相撲は五日に至り漸く降り止みたるため久し振りの櫓太皷の音勇ましく開場したるが、何分三日に亙りて休場せし事とて客足薄く豫期せし程の入は見ざりしも正午過ぎより梅雨晴れの蒼空が所々に見えて天氣模樣大丈夫と見えしためポツポツ木戸に押寄するありて桟敷土間共に相當の客足あり十二時過ぎより取組に入りたり

●警戒解除 (七月四日午後九時仁川觀測所發)

▲黄海道、京畿道、忠淸南北道、全羅南北道、慶尙南北道、江原道咸鏡南北道の沿岸及び内陸の警戒を解く

愛讀者優待
東京相撲 木戸割引券
本券御持參の方に對し一名限卅錢の木戸を廿錢に割引致候
京城日報社
仁川興行中

●京釜線開通 連絡船便接續

[illegible]せため四時間五十七分鳥致院を延發したり又連絡船は三日夜入港すべき豫定なりしに港外に停泊し漸く五日[illegible]時半釜山の鮮滿急行列車に一時間二十五分延着午後十一時發の急行列車は二時四十三分間延着せり從つて内地便は[illegible]るものなり而して四日朝及び夜南大門驛著急行列車は何れも鳥致院に止まりたる爲め北行旅客は[illegible]

●同居者の金

全北井邑郡水元面後池里農[illegible](三)は六月二十八日同居中たる[illegible]

▲募集規定 (文藝課題及び募集規定) [illegible]

天氣 くもり (七月六日午前六時發表)

商況

東京債券現物特電

四日出來値 東京 [illegible]

東京公債直取引

[illegible]

深川任米特電

四日出來値 [illegible]

東京期米特電

四日前場 八月限 [illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

四日前場 [illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

五日前場 [illegible]

雜報

●綿糸更に爆發 糸綿

[illegible]九十錢安[illegible]稍小康を保ちしが後場[illegible]米棉二圓[illegible]更に爆騰[illegible]一躍十一圓乃至十六圓方の突飛[illegible]四百圓說[illegible]

●毛斯綸突飛す 內地

[illegible]生地物又八十錢の新値を出し[illegible]中小賣値も一値上行[illegible]三十五錢に締り遂に[illegible]

●四十錢臺に騰る

[illegible]

●大豆は軟調 大連市場大豆

現物は昨電五圓三十六錢前後より三十三錢方弱落して五圓十三錢との報あり同時に大連銀換算率は前日より下値 一圓方小縮 [illegible] 大口の手合なく [illegible]

●土管出廻遲る 拂品

底に苦める土管は其後内地好況なる上輸送不足高價の爲め移入杜絶し只管永登浦の出廻りを待つの外なく其期日も定まらずして[illegible]依然品切れのまゝ[illegible]

●新梅近く入荷

[illegible]約一倍方騰[illegible]入荷高[illegible]一時相場の下落[illegible]

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

●煉乳一部昂騰 乳煉

[illegible]六十錢方の値上[illegible]十六圓八十錢[illegible]

●機械油漸騰

[illegible]

下關相場

[illegible]

各地商況

○釜山(四日の穀物) [illegible]

●市場零聞 天候

▲依然保合ひ [illegible]
▲成行の保合の裡に氣迷 [illegible]
▲入氣氣迷ふ [illegible]
今回の洪水に多少の被害 [illegible]
黄海道に至つて未だ雨量少 [illegible]
安の感あるより比較的割 [illegible]
反つて強材料となるべく内地の情勢に空前の高値出顯 [illegible]
今後の降雨は氣迷の種 [illegible]
目先の事情は殆んど [illegible]

○鎭南浦(四日の穀物) [illegible]

田中金兵衛 定期賣買の栞、電信略號御一報次第御送附可申候 電話長一六二五八番 [illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲五日前場(保合) 止二十三圓八十八[illegible]
大阪昨後場 [illegible] 七錢安に寄付 [illegible]
大阪天候晴 [illegible] 五節前場[illegible] 寄二十三圓九十四錢と六錢高の入電に[illegible]保合の儘七十六錢[illegible]

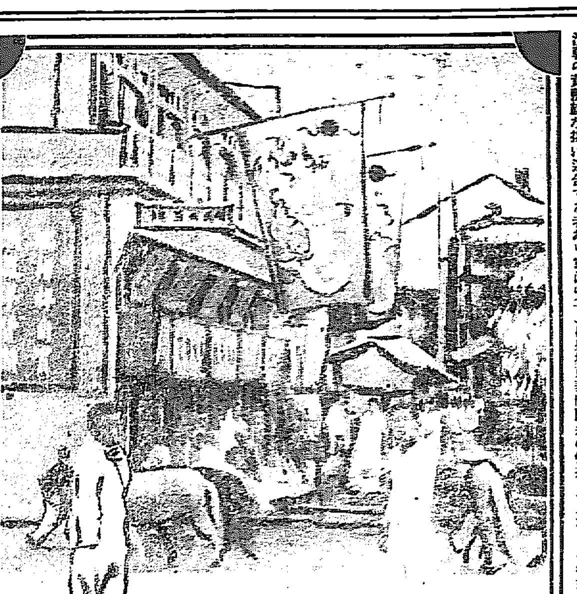
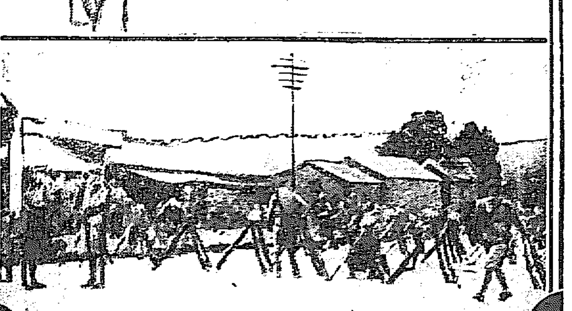
廣澤正次郎 確實迅速 [illegible]

仁川米豆取引所 五日の九月限

[illegible]

……時不通なりし箇所は五日午前二時五十分開通し四日午後七時五十分南大門驛發急行列車は全義に於て待合……時五分入港し四日京城着港すべき新羅丸及び同夜入港すべき對馬丸等は何れも延著したる爲め四日夜釜山發の列車は待合せの爲め遲延し午後十……此の二個列車に接續すべく鮮滿急行列車は五日午前九時五十分南大門驛に著該列車は釜山發二、三等混合列車に於て成歡に二時三十分停車した……北行急行列車は釜山より延著せしめ特に南大門より列車を仕立て定時に出發したり

……の所有なる額面五百圓の郵券を窃取し井邑郵便所より五百圓受取りて逃亡中三十日午後群山浦署の手に逮捕され現金は押收され目下取調中

◇黃龍旗飜る戰場の如き北京（復辟當日の撮影） 南北調停の爲め、得し手兵を提げて急遽北京に入れる張勳將軍は年來の宿望たる清朝の復辟は此期に在りと密かに保皇黨の首領康有爲を招き、着々其進行を計り、北洋軍閥の頭目王士珍等亦た之れに和し、黎總統に迫り國政奉還の止むなきに至らしめ、一日午前三時遂に大權回收の上諭を發表せり。張勳氏自らは內閣の議政大臣となり其他數大臣の任命あり。而して皇城は張勳の手兵及び民國政府の軍警等に依つて嚴重に警戒せられ、戰場の如き觀を呈し、市中官衙及び商店には早くも清朝の黃龍旗を掲げ迎合する者あり寫眞の（下）は皇城東華門附近の警戒、（上）は當日午後市中に黃龍旗の掲げられたる光景なり

◎悠々芝居見ながら
□□張勳氏は復辟を實行した□□

△醇親王知らず 張勳將軍の定武軍は三十日晚より陸續天安門に移駐し同門の大圜腦內は張勳軍を以て充滿し天安東華兩門は交通を禁止し容易ならざる形勢を現したるが此晚滿室內廷に御前會議開かれ張勳、劉廷琛、陳寶琛の諸氏參會し會議終はるや張氏は悠然江西會館に觀劇して無事なるを裝ひ夜半十二時散劇後初めて宮門に入りて宣統帝復辟を斷行したるが醇親王の如きは一日午前四時內廷よりの急召に接し其何故たるを知らず先づ妃をして入內探聞せしめ復辟の事實を確めて大に驚き同六時馬隊三十餘名に護衛せられて參內したり

△從容たる黎氏 一日午前六時梁鼎芬、陳寶琛、江朝宗、陳光遠諸氏は王士珍氏を迎へて與に公府に入り黎總統に見ゑて復辟の事を告げたる處黎氏曰く往年袁項城の帝政を行はんとするや之れに反對を加へたるは之れが爲め國家が分裂の禍を醸くが爲めなり今復辟に對する意見も亦同じと梁鼎芬氏は我等が今此に來たれるは唯だ此事を通告せんとするに過ぎず一切の詳細は未だ語る事能はずとて辭し去るや黎氏は事已に此に到りては死生唯だ命のみとて毅然たる決心を示して間もなく遜帝は黎氏へ一等公に封ずとの上諭を降だし公府の出入は定武軍に於て嚴守され黎氏は東廠胡同內の私邸に移轉する事となれり

△李經羲氏狼狽 張勳氏私邸に於て數日來復辟案の密議開かれたるも李經羲氏は一切之れを知らずして一日午前に到り猶內閣組織問題を考慮し莊蘊寬氏に秘書長兼任の事を協商し同日午後三時始めて政變あるを聞き吳警察總監に急使して其保護を求め吳氏より謝絕せられて非常に狼狽し逃れて江朝宗氏宅に到りたりと云ふ

△世續放聲大哭 復辟案は殆ど張勳氏獨斷にて決行されたる者の如くにて宣統帝の生父たる醇親王すら其決行後內廷の急召に接して始めて聞知したる程にて其前途の運命も甚だ危まれ滿室大保世續氏及び清大妃等は此報に接するや巨禍の清室に及ぼさん事を懼れ放聲大哭したりと

△太だ不安心也 這般の復辟は康南海の持論たる虛君共和制を實行したる者なるも其官制は多く清朝の舊制に據り軍機大臣に同じき議政大臣及び各部尚書を置き地方官として直隸兩江、兩廣三總督及び南北洋兩大臣を設け各省督軍を巡撫となし現在省長を布政使となさんとする者の如きが地方鎮壓の棟梁たる直隸總督が何人なるや兩江及び兩廣の馮國璋及び陸榮廷兩總督が何處迄滿廷の節制に從ひ又各省巡撫が果して新任の上諭を遵奉す可きや問題なり特に北派の大頭目たる徐世昌段祺瑞兩人の態度猶不明にて段氏の如きは南下の風說すらあれば南方派の反對は更なり北派中の結束すら太だ不安心なりと謂ふ可し（二日北京發）

◆傳燈寺詣で

雨伯の反逆‖洒落の悲哀‖灰色の步調‖新傾向の歌‖瞑想詩人の脫線‖掉尾の一振‖

大旱魃の折柄氣紛れ者の天帝の惡戲か、赤帝に對する雨伯の反逆か、一行の感興酣ならむとする時清風一陣深綠を搖かして、銀絲の如き雨がバラ〳〵と降つて來た、一山の騷動は言ふも管だ、一行は河鼠の如くヅブ濡れて

◆泥濘む歸途を◆ 辿るかと思へば其の悲慘さ、寥しさ、苦しさを想像した丈けでも、グッソリする、R氏の『やらずの雨だらう』も時に取つての洒落の悲哀で氣勢擧らざる事甚しかつた、然し一行は二時半迄に草芝に集合せねばならない事になつてゐたので雨中の記念撮影をして山僧に辭して山を下る、此時雨は止むだ、者の灼熱に炒りつけられた大地は蒸氣を上騰して水蒸氣の臭ひが腦神經をシン〳〵と刺戟する、炬熱と困憊は益々加はる、倦怠と疲勞の步調は

◆灰色の埃に塗◆ れて傷々しい程勢がない、我々が部落を過ぎる毎に部落の總角は何れも對樓上散亂狼藉を極めた折箱やサイダー瓶を大切相に抱へてゐた一行の廢物は近在近鄕を霑したのであらう、勞力經濟を超越した瀟洒の悠長さや牛の午睡を貪ぼるのや、默々として田植をしてゐるのを見ると

◆森羅萬象がみ◆ んな死んで行くかの樣に思はれて跋涉きひき一行に引摺られて行く僕の氣は絕え入り相だつた、我等に續く一隊が疲勞と炎熱の苦しみから脫れんとての試みか、發作的の奇音擬聲で目茶苦茶に聲節を儉約した新傾向の『モシ〳〵龜よ』や『此處は御國を』や『汽笛一聲』を放歌した爲め此の滑稽た行進曲に強ひて行路難を忘れつつ

◆草芝まで辿り◆ 著いた一行は豫定の時刻に草芝の濱に集合して直ちに乘船したが、詩人R氏の姿が見當らなかつた、サア大變、永宗島遊覽の際も時間觀念を超越して大脫線を演つた程の現世離れのした先生の事であるから一行は氣が氣でない『陶然として草を褥とし天を仰いで瞑目之れ久しうすとでも言つてるのぢあないか』『サア解らんて何分時代附の詩人だからね』時間は退屈と不滿と喜劇的の氣分と絕望的の皮肉の中に十分過ぎ、三十分過ぎ、懸て一時間計りすると雜木林の中からR氏の

◆悠々たる姿が◆ ひよこり現はれる、その眞面目なそれで居て時代錯誤の夢遊詩人らしい滑稽さは一行の感情を妙に喜劇的にして不快も不平も笑殺し乍ら船中ワーッと囃すと、瞑想詩人驚くまい事か洋傘を振り手を擧げて『哀號〳〵』を連發し乍ら頻りに船を呼はつた、船中からは『いや船はやるまいぞ、俊寛ぢや俊寛ぢや』と

◆船腹を叩けば◆ 詩人殆んど泣かん計りに遙かに船を拜んだあたりは傳燈寺詣での掉尾の一振で一行の腹を猛烈によらせた（終）（仁川 磐溪生）

◎未婚者は器用で記憶が宜い

仁川機業所分場の女工 今回作業式を擧行した恩賜授產京城機業所仁川分場は愈々山手町靑年會上の洋館で作業を始めた京城機業所からは太技手が主任として專ら女工養成に努め女工には土地の朝鮮婦人約十數名を募集して每日八臺の織機を運轉しつゝ有る織物は當分の中木綿物のみで女工には染方から、糸の結び方さては織機の扱ひ方迄巨細となく傳授せねばならぬ仲々骨である、女工の年齡は十五六才から二十才前後で既婚者は四五名に過ぎぬ太技手曰く京城機業所在勤中の經驗に依れば朝鮮婦人は未婚者は仲々器用で記憶も宜いが辛抱強くないから機業の如き長き熟練を要する作業には不向である、既婚者は此れと反對に呑込みが遲く何れかと言へば授業には骨が折れるが生計上の關係から永く就職する樣である云々（仁川）

◎行路病人激增

朝鮮に於ては從來行路病人の發生せし際は一々之れを救助せず村人は夜陰に乘じて隣村に連れ行き捨て隣村も亦前村の遣路通り他村に捨て轉々として再び最初の村に捨て歸らるゝこともあり其間病者は飢と藥用手當を受けざるにより遂に死亡するに至る狀況なりしも併合後新政の餘澤により此等行路病人は府郡面に於て救助し食物を與へ藥を給し看護婦を附する等其手當の行屆けること全く往時と其趣を異にしたるため昔日に比し行路病人俄かに激增し殊に平壤鎮南浦の如き醫療機關の設備完備せるため行路病人も亦他の郡面に較ぶれば非常に多く此れがため支辨する閱費は頗る多額に上ると云ふが、るところの慈善事業は宗教團體に於て適宜の方法を以て救濟機關の設立經營をなし當局の救濟事業と相俟ちて其目的を一層完全ならしむべしとの說有志間に起り當局に於ては其方法を考究中なりと（平壤）

▣平壤府と蠅の捕獲高 平壤府廳に於て五月一日より六月末日迄捕獲せし蠅の數量は一石五斗餘にして之れを疋に換算するときは四百五十萬疋となると云ふ因に蠅の買上げは今尚實行中なるも本年は昨年に比し買揚數量非常の減少を示せり（平壤）

渚の砂

▣藝者と溺死體 平壤大同館の藝妓若菊は二日夕刻藝客と共に屋形船で大同江で囃はしてゐる內咽喉が渴いたので川の水を掬つて飲まうとすると船に何か浮いて來て手先に觸れたそこで皆が引揚げて見れば朝鮮人の土左衛門であつた

▣風擬りの男 長崎縣南高來郡守山村栗原安次郎（三二）は亡兄の妾某（四四）と內緣を結んだが此程嫉妬を起して無理心中を強ひてやり損ね直樣警察へ

▣若い老爺 熊本市外世安に樓まつてゐる上田與平（九一）といふ老人は壯者を凌ぐ程の元氣さで倅から月五圓の手當では足らぬと言つて古物買ひの商賣を始めて京町にお留（二四）といふ女を囲へて居つて日二三圓は女の家に數日間滯在して儲いた金を注ぎ込んでゐると

▣失敗した營業 越後三條郡大崎村中村富三郎（四六）は泥棒を開業する爲め金比羅様の神籤を引いて大吉を得たので愈々手始めの盜みに行くと途で蛇に逢つたのを不吉と思つて一度は廢業したが又始めて第一回目に見事ふん縛られた

▣番茶に祟らる 岐阜縣山縣郡富岡村奧田儀左衛門方で三十日夕刻番茶を飲んで寢に就いたが其の夜家族五名が中毒を起し激しい下痢を催して人事不省に陷つた應急手當を受けて辛らく蘇生した

▣病家の悲劇 愛媛縣溫泉郡小野村元巡查與村政男（三六）は肺病の爲め退職し後妻の岡本ひさ（二五）の働きで細い煙を揚いでゐる內ひさも病氣になつたもので悲觀の末先妻との間に生れた娘子（二つ）を絞殺して政男は二十九日夜鐵道自殺を遂げた

□演藝案內

御成座 電一九一
現代新派當世劇一行
七月五日替り狂言
▲一番 喜劇 今と昔
▲二番 新羽衣 一場
▲三番 六場

黃金館 電話三六三七 六五二
本館開館一週年記念特別大興行
奈良丸式寫眞 山科大石妻子別れ
▲大滑稽チャプリン皿廻 全一巻
▲泰西大活劇 燦々の恩 全三巻

有樂館 早川演藝部直營
七月六日より封切文藝大寫眞『マクベス』上場
▲第七『紫の覆面』
◎大滑稽『土耳古風呂』
▲人情劇『鐵壁』（全二巻）
五郎藏（全五巻）

大正館 櫻井町 電話八七三

稻荷座 本町五丁目
本年五月興業に於て非常の好評を博した大阪親友派浪花節泰斗竹川馬生一行滿洲地方巡行中の處今回內地へ歸途に際し再度當座に來る七月五日午後七時より開演致す事に相成候間前回同樣賑々敷御來車被下度此段奉懇願候也 敬具

雨天に拘らず每夜大入
奈良丸式寫眞 山科大石妻子別れ
愈々六日限り 黃金館

壽館 京城壽町三 電話一〇七〇
二代目桃中軒雲右衛門大一座
巡業中の處近日乘り込み開演仕候

時長
▣齒を強く美くし。
▣口中を潔潔にし。
▣防腐殺菌力強大也。
化學的純良なる
ツバメは齒磨
發賣 丹平商會 東京 大阪

漬物問屋
大阪市南區新戎橋筋電車通
商號 ⊠ 森內商店
電南三〇三七番 替大阪三四〇一三

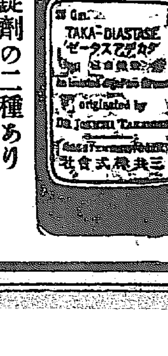
男女社員募集（日鮮人 但し鮮人は日本語を解するもの）
月收五十圓以上確實 趣味豐富なる簡易事業昇給の道あり希望者は本社外務部長宛履歷書送れ
本社 東京市丸の內有樂町一丁目四番地 大日本勸業株式會社

◎社員募集（日鮮人）
▲希望者は各地所在事務所へ來談
明治公債株式會社
朝鮮台灣中國九州營業本部
釜山谷町二 電話（三四三七七番）

有給（內勤外勤）社員募集
眞面目なる活動家及事務家を望む御希望の方は履歷書左記代理店迄御郵送を乞ふ
但履歷書は採否に拘らず返却せず
明治生命保險株式會社
京城出張所
假事務所大和町二ノ五五
同代理店 山口吳服店
本町二丁目 電話長九番 三九番

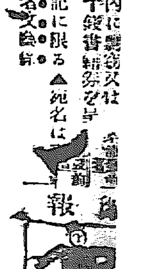
▲洋酒罐入 ▲おいしい菓子類 ▲珍らしい罐詰
中元御進物用品 本町 龜屋
▲評判の金剛飴 ▲便利な商品券 ▲新柄雜貨

又々第一位
弊店六月中の賣買出來高は壹百萬九千三百石にして又々第一位を占む即ち弊店は一層の努力を以て尚ほ將來に於けるこの位地を支持せん事を期す是れ大方の同情に酬ゆる所以なりと信ず諸賢幸に不變の眷愛を賜へ
大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我一郎商店

＝タカヂアスターゼ＝
高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり
類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ
本劑は粉末及錠劑の二種あり
本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す
東京室町 三共株式會社


投網 魚釣具
四分目長二十尋岩口廻十尋岩九百匁 極上等麻糸製仕揚一帖八圓
代金引換料 投網五十錢 釣具一組二十一錢（前金ニ限リ送料半額負擔仕リ候）
四本ツギ竿一本蚊針五本宛三種釣針五本宛五種人造テグス十尋絹釣糸十尋本テグス三本ウキ重リ全部揃ヒ一組飛切上等一圓二十九錢極上等九十三錢上等五十七錢
投網、漁釣具 柿澁、網、糸 卸商
京城永樂町二丁目 吉備商會
電話三一四番 振替京城四三二八番
卸小賣共御申越次第明細相場表進呈

△川柳『鈞』 同七日 同八日
△物は付 品なるものは 同八日 同九日
△落水車と掛けて 同九日 同十日
△一口噺『北時々の春』 同十日 同十一日
△下句付『寄人は』 同十一日 同十二日
表後一週間以內に到着又は投書者には五十錢圖書……何號と明記に限る ▲死名は……



明君道中記

第百九十七席　田邊南龍口演

三宅宅兵衛が姥ケ餅の由來を申し上げましたが昔し江州觀音の城主佐々木左京大夫義堅の息駒君を育てたる乳母は此の草津の者でございます。扨佐々木の家が斷絶をして義堅は亡びその時乳母が此の駒君を連れて故郷へ歸り草餅を商つて主君をお育て申し上げた天晴れ忠義な婦人でございます。それよりして此の餅屋を姥ケ餅と申しまして代々餅を商ひまする。只今の家はその乳母の家續きでございまする　長『ハヽア佐々木の系統が餅屋であるか』と仰せられ硯を取寄せ白紙を出してサラ／＼と認められ、宅兵衛宇平次へ是を見せる、兩人が手に取つて見ると

　姥ケがひと名をも雲井に立昇る
　　一盃毎にちぎる嬉しさ

とありましたから、兩人は感じ入りました、木鼠三次は食べるより外能がないから、小豆餅を頬張りに食べて居ります。向ふの方に三人の侍が來て草餅を食し乍ら何か話して居るか高笑ひをしながら騒いで居る、處へ表から入つて參りましたは二人連の順禮、父とも云ふべき男は年齢六十餘り十四五の小娘を連れて餅屋の店に參り親娘は御詠歌を唄ひまする。ふだらくや岸打つ浪は御熊野の那智の御山に落る瀧津瀬、と唄ひ柄杓を持つて三人の侍の前へ參り合力を願ふと侍は是を見て　侍『エイ喧しい、御詠歌なぞを唄つて、イケ騒々しい奴だ其方へ行け　親『ヘイ旦那左様な無慈悲な事を被仰いませんで何うぞ一錢惠んで遣つて下さいまし　侍『成らんと云ふのにくどい奴だ　△『全體此奴は圖々しい奴だ、氣に入らん怒うして遣る』と突然拳固で老爺を打つた、順禮は腹を立て　老『酷い事をなさる、くれなければそれで宜い、何も打たなくも宜うございます　侍『此の老爺、生意氣に口答をするな怒う云ふ奴は以後の懲しめ打擲て遣はす』と三人でその順禮を表へ引出し打つやら蹴るやらさん／＼に打擲をいたします、娘は泣て止めるを向ふへ突仆す、小娘の背負つて居りました甕がゴロ／＼と往來へ轉がり出し中より白骸が飛出す、是を見ると娘は驚き　娘『アレ阿母さんの骸が往來へ散亂つてしまつた酷い事をなさいます　侍『何白骸だ、縁起の惡い斯様なものは怒うしてしまう』と白骸を踏付てしまつた最前より此の樣子を見て居りました長七郎　長『コレ宇平次宅兵衛　兩『ハッ　長『彼の三人の侍を取押へろ　宅『畏りましたと兩人はそれへ飛んで參り突如宅兵衛が一人の侍の利腕を摑んで肩にかけエイツと向ふに投げ付す、是を見て他の侍が　侍『ヤア何をいたす、不禮者と云ふを宇平次飛込み様その者を突仆し、今一人をそれへ取つて押へる。有無を云はせず三人とも下げ緒を以て高手小手に縛めてしまひました。三人は目ばかりパチ／＼遣つて居る處へ長七郎お出でなされ　長『コリヤその方共は何れの者である』　侍『我々は代官石原消左衛門の家臣である。何んで我々を縛つた　長『縛つて宜い故縛した。其方共は何んで親父を打擲をする其上ならず甕の中の白骸は彼の娘の母の骸じやと申すが人死んで骸となれば成佛と申して佛となつたのである、その骸を足下にかけると云ふは言語同斷の奴、依つて縛したのである。コレ老人是へ出なさい　順『ハイ／＼有難うございます、お蔭で命拾ひをいたしました　長『全體其方も宜くない、物を乞ひ受けるには愛嬌がなくてはならん、チト其方は不愛嬌過ぎる以來は心付けよ　順『有難うございます　長『早く彼の白骸を甕へ納めて娘を見て遣はせ』老爺は白骸を拾ひ取り泣いて居る娘を慰めそれへ參りまして長七郎に禮を述べる、長七郎は若干の金を與へて順禮親子の者を歸して遣はしました

院長　醫學士　森定吉
内科　小兒科
芙蓉醫院
京城本町三丁目　瓦斯會社向側　電話二六二三番

暦　七月七日　土　舊五月十九日　庚戌　本命八白　定　大安

▲八白●不挨拶の事多き日新事見合東方は吉に創はれ▲九紫●大望届く日韓居入學金件求職家作行、新婚轉居等なさず、移轉吉▲一白●邪魔するもの有る日新事手控萬事は吉紹介仲入頼せぬがよし▲二黒●有かた都合の事有る日新事手控お弟子土工は妨なし▲三碧●身内事を生ぜんとす注意新事手控常の事は吉▲四緑●常外の狂ふ事有る日新事手控萬事樹を植ゑるは吉▲五黄●思を施て反て笑ふ事有る日新事手控へ事療醫は妨なし▲六白●繁盛の日韓居入學金談名弘求、縁起築船出萬吉▲七赤●祭典の日轉居行商入門名弘求、移探鍍婚禮金談製系等吉

月やく　如何程長き難症もメンニスを御服用あれば必ず通經す　藥價六十錢一週試用三十錢　京城黄金町三丁目山田文殊堂藥房

ヨコキコ！　ひせん　芳香ひぜん水
大阪市南區新町通二丁目　本家　田知本和三郎謹製　各藥店に販賣す　振替大阪二八一八番

ビルヂング石鹸
ホントにきれいにほひの石鹸よ
石鹸の良否は御家庭の經濟の上に大なる關係があります
實用新案　教育玩具付　ビルヂング石鹸
お母さんごらんなさいこんなにきれいにかざれました
本舗　東京平尾バール　大阪平尾レート　代理店

男のひみつ病
内外國醫科大學御採納東京順天堂病院始め博士學士の實驗證明と全快禮狀湧が如く全國發明品投票に最高の優等に當選せる專賣特許手島式眞空療法器は自宅で簡單に有効なる水治療法を兼ね行はれ生殖器の短小、委縮、能力の諸障害、神經衰弱、痳病等を速に治し無病の人にも効果偉大也▲包莖者は特許包莖安全自療器を使用せば如何なる皮カムリも手輕に治るハガキで申込め圖入り説明書を無代送呈
(專賣特許に似せたる公許も無き自稱新案特許なるものあり注意)
無病の人も試よ
東京京橋本材木町三ノ二五　新療法研究所
大阪市北區北森町一番地　新療法研究所

電話開通三〇六八番
税所齒科醫院　京城旭町二丁目八一　府廳裏通
見習看護婦入用　高等小學卒業程度

正式のお化粧の仕方
東京でも、大阪でも、良家の奥樣やお孃樣のお化粧といへば、大抵次の方法に極まつて居ります。即ち先づ……
(第一に)舶來石鹸よりも牛乳よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顔を洗ふ。
(第二に)皮膚の美を養ふ……お化粧下　クラブ美身ゼリー
(第三に)襟から顔へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止め愛用の美身用クラブ美身クリームを代りに用ひ、能く擦り込んでから蒸タオルで拭き取る。
(第四に)一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉を掌に取り、指先で能く煉つて附け、(襟は顔より少し濃く)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせる。
(第五に)お顔にホンノリ櫻色の健康色を與ふるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷きつける。お化粧を引立てるクラブ粉白粉をセーム皮につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム皮で軽く打ちますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上ります。
お化粧の順序　クラブ洗粉　クラブゼリー　クラブ白粉　牡丹はけ　水はけ　ぬれタオル　クラブ頬紅　クラブ粉白粉　美人

"PINE"
是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
●大日本政府登錄　米國製正十四金「イリジユム」付ペン(責任保險付)
●附言　パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕　堅牢無比
東京パイン萬年筆出張所　京城旭町二の六
定價　…　發賣元　京城大平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
陳列所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

ヨコクキ
ホシ下痢止
定價10.20.
▲急慢性下痢　▲胃腸カタル　▲吐瀉、證、腹
東京南傳馬町三　星製藥株式會社
各地特約店及藥店にあり
特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

[illegible: railway timetable strip along left edge]

京城日報

第三版

朝鮮の郷土美（中）

鶴田樸村

今までに見る多くの過去の作品が吾人に或る鷹美を表せしめ、仕事の大きかりし事蹟、巧妙に自然に從ひ、且つ自然を生かして猶當時の心を代表せしめたる建築は、現時にては皆不調和と永久美といふものを考へなしに從らに建設する。實用といふものをどこ迄も引き伸して[illegible]らば、人の世は如何に無趣味なるものになるであらう。唯肉體の生活あるのみである、異を眺めても木を見ても、實用のみ考へたならば、北處には悠々たる人の生活といふものが無くなる。

自分が内地に歸つた四年の間に、朝鮮に就いては可成りの鋭敏さを以つて、曾て此處に遊んだといふ者等に感想を叩けば、何れも無趣味なる一言を以つて答へるのであつた、けれども其等の人の多くは自然を見る目が未だ開かれてなかつたのであらう、人の間にばかしあつて實用をのみ考へたからであらう、又自然にしても、何故山紫水明ならざるが故に殺風景なるか、何故優美ならざるが故に親しみ得ざるか、實用主義者の自[illegible]餘りに[illegible]景觀に捉はれてゐると思ふのである。又朝鮮の生活なるものが單純にして色彩の乏しきを訴へる、併し乍ら新しく自分等の地を造り上げんとするものが、大切な自分等の生活を見出さんとしたものが、何故愉快に美しく造る可く努力しなかつたか、其等の人の心が餘りに貧弱なりしを憫れんだのである。悟らいふ事を言へば資力の問題といふものもあらう、而し幾ら資力があつても心の貧しきものは覚に俗といふものより得られない。

朝鮮を美しくするには、尠くとも世人に朝鮮を愉快なる感情を以つて迎へしめるには、過去を以つてしてはならない、現在からである、改良をする必要はあらう、打ち壊すことは不可ない、倘最も必要とすることは此處より一人の藝術的天才の產れることである。

多くの凡俗なる紹介は要するに案内である。郷土の自然を見る目を開かせ、美しきものを發見し、増大させることは、天才を待たなければならない。自分が多くの旅行[illegible]は、單に皮想であり、要[illegible]然であると思ふのは之れある。

伊太利のヴェニスは、整つた壯麗な水郷には違ひない、而し一人の天才ターナーがあの壯麗なヴェニチアを畫しめたではないか。[illegible]輝びたてはないか[illegible]山は確に美しくはあ[illegible]の山岳を畯美し、浴[illegible]情熱を注いで山民の生活を謳つたジョヴァンニー、セガンチニーの藝術は更にアルプスの自然を崇高ならしめたではないか。

隣邦を奈何（十九）

…對支國策を確立せよ

中一島生

對支活動の個人的要件（下）

第五には勇氣と冒險心とを必要とす。積極的に事を爲さんとする者は、如何なる種類の職業にありても勇氣と多少の冒險心がなくてはならぬ。但し勇氣も冒險心も、之れを惡用すれば、直ちに弊害を伴ひやすいのであるが、前に舉げたる德性と併せ有する事は差支なきのみならず、却て有利である。殊に支那大陸に活動せんとする者にとりては退嬰萎縮は大の禁物である外國人とも或は平和的商戰を試みねばならず、深く奥地に進み入るには先驅者たる勇氣を充分に貯へて置かねばならぬ。第六には同化力が必要である。茲に同化と云ふは日本帝國民としての權威を有し、大和民族としての愛國心を有し、然る上にて支那人の生活に同化して行くと云ふ事である。支那人は臭いだとか、支那料理がいやだとか云つて居るやうでは、支那人の間に交つて仕事が出來ない。人間到處有青山在り、其の行く所即ち自己の天地たるの心意氣を以て、悠々自適する丈けの餘裕がなければ、大國民の大發展はできないのである。第七には相當の資本を擁するを必要とす。之れは特に商業に從事する者の爲めに必要である。徒手空拳にして、萬金を獲得し得ざる場合なきにあらず、又然る時は愉快此上もないのであるが何人も之を望み得る事でなく、苟くも事業を成さんとするには、多少の資財を備へざれば、信用を得て業を爲す能はず。支那人は金といふものを非常に尊重する人間――誰れだつて金がきらひなものは無いが――であるから、相當の體面を保つ丈けの金は持て居らぬと馬鹿にされる。尤も金力必ずしも最も尊しと云ふのでなく上に舉げた諸の資格と併せて有すれば、此上もない事である。次に之れは、總ての人に必要なる資格として、求める事はできぬが商工業を經營して活動せんとする中流以上の人士に特に必要なるは、支那に赴く前に、本國の職業の豫備的智識を有するといふ事である。一通り事業に關する智識を有すると否とは、外に出でゝ活動するに大變のちがひである。又支那では英語が盛んに用ゐられ、英語を話す外人が多數入り込んで居るから、彼等と取引關係に立ち、或は社交の上にも、英語を充分に知つて居る事は、甚だ必要の事と思ふ。此等は第二の學問教養の項の中に加へて述べるべき筈であるが、便宜終りに舉げたのである。

以上數項に亙り説いた事は、日本人として支那に活動するに最も必要なる資格條件として數ふべきものである、まだ此他にも數へれば幾多の要件もあるであらう。但だ比較的重要なりと思ふ項目について簡略に說いたのである。以上の資格を具有するに於ては、道に帝國臣民として大陸に意義あり、權威ある活動を試みる事ができる筈である。而して是等の資格を得る爲めに、個人的に努力する事が肝要なるは勿論であるけれども、個人の力のみを以て、如上の資格を得る事は、困難である。國家の力を以て、之を助長し助成する事こそなければならぬと思ふ。茲に於て國家的條件なるものが生じて來るのである。

朝鮮の教科書（十三）

編輯課長 小田省吾

三、専門學校教科用圖書

大正五年度を以て京城専修學校（一法律經濟を教ふ）、京城醫學專門學校、京城工業專門學校の官立專門學校が新に設立せられ、茲に朝鮮學制實施上完きを見るに至り、私立專門學校も漸く起らむとす。此等諸學校に於て教ふる所は何れも相當高尚なる學科に屬するも專門學校は高等普通學校の卒業生若くは夫と同程度以上の學力を有するものを收容し生徒は皆善く國語に通ずるを以て、專門諸學科に在りては、何れも教科書を使用せず單に講義筆記に依り教授するも差支なし。然れども修身、國語の如き普通學科に在りては、勢教科書の必要あるを以て、本府に於ては亦此等教科書の編纂に着手し、本年度を以て取敢へず專門學校國語讀本（全三冊）を出版せり。本書教材の種類は高等普通學校用國語讀本と粗同一なるも、其の程度一層高尚なり。殊に專門學校の通弊として動もすれば訓育上に缺陷を生じ、常識の不足を來す等のこともあるを以て、本書に於ては成るべく之を補ふの方針を取り皇室國體に關するものは勿論、力めて教訓、常識に關する材料を選べり又學藝、事業に對する研究經營の苦心談、學者偉人の傳記又は研究の結果等を拔錄して直接生徒の參考資料たらしめたり。

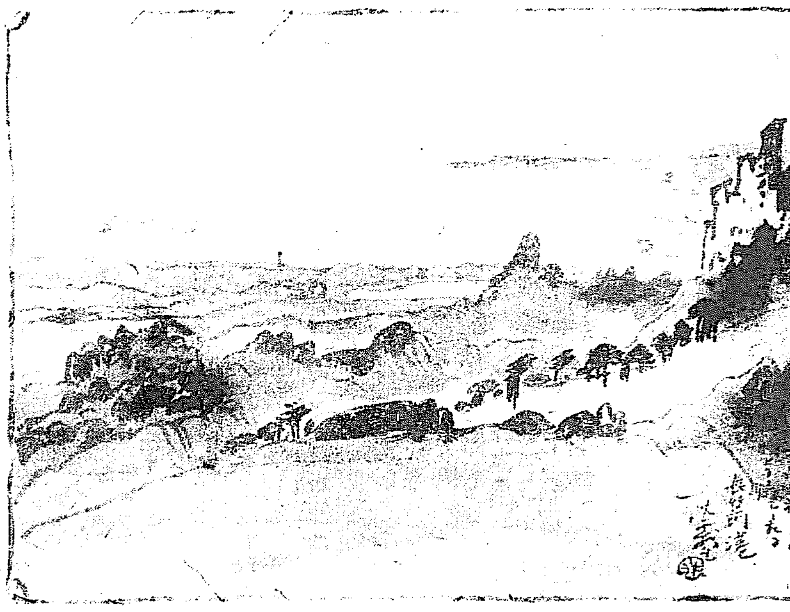
四、實業學校教科用圖書（その一）

朝鮮に於ける實業學校は今や九十二校の多きに達し、其の中公立農業學校は十五校にして各道一若くは二を算し、簡易農業學校は多く公立普通學校に附設せられ、其の數五十九あり、之蓋し農業は朝鮮産業の基礎なれば、早く完備の域に達せしは自然の勢なり。然れども由來農業は各地方の風土氣候に應じ適當に施設せらるべきものなるを以て、内地の農業は直に以て之を朝鮮に施し難きや論を俟たず。殊に學校に教ふる所は之を實地に施して失敗に終るが如きこと往々見る所にして、此の如きは實用を主とせる朝鮮教育の最も忌む所たり。

夏の金剛山

丸山晩霞

（四）奥萬物相の高嶺より瞰下したる長箭港――この峯は萬物相に面してゐる。こゝのは、懸崖絶壁を成して、萬物相の奇觀であるが、背面は樹木の繁茂せる峻坂し、この峯の鞍部まで登れば、それよりは容易に登攀さるゝ。こゝより東方に、長箭港と溫井里の郵舍が淡く、長箭港の目標とされてゐる尖峯に遠く海岸の一角が瞰下さるゝ。



誰（3）

布施生譯

此時何やら入口の方でも一騷動あるらしく暫時がや／＼したが、頓て引止める守衛を突放して、づか／＼と這入つて來たのは先刻の鋼鐵王である。『やあ保部様、やつと目にかゝれましたかな、實は先刻も參つたんぢやがお留守ぢやと云ふ事で、それで無駄足して只今復參ると、如何ぢやらう、守衛の奴め私を入口で捉へて入れまいとしくさるのぢや、何處の國にお顧客をあんな目に會はせる銀行があるもんか、いやまあいゝわ、今日はな昨日お知らせして置いた例の金子な、あれを戴いて參りませうかい。』言はれて保部氏は少しむかついた様子であつたが氣を取直して『宜しいとも差上げませう、然し一寸お待ちを願ひたい』『今朝九時とお約束しておいた筈ぢやが』『なにいやなに、甚だ恐縮ですがほんの十分ばかりお待ちを願ひます、直に取寄て差上げますから』そう言つて鈴富に向ひ『おい、直に中央銀行へ使を出すのだ』鈴富は青ざめた顔をあげて『出しても駄目です、もうあの銀行には五萬圓しか殘つて居りません』之を聞いた鋼鐵王の顔には皮肉な笑が浮んで『ふんさ』と言つた、此年はフランス財界の恐慌時代で如何な大銀行でも内幕は大抵苦しかつた、一寸した噂が種になつて取付の非運に遭つた銀行も少くない、保部氏は鋼鐵王がふんと言つた樣子に大分侮辱を感じた様であつたが頓て胸を撫つて『なに御心配には及びません、不肖ながら此銀行は他にも取引銀行が御座いますから』そう言つて自分の部屋へ引込んだが、程もなく手紙を一本と包を一つ持つて出て、別の書記を呼び『さあ之をロートシルト銀行へ持つて行つて十四萬圓受取り此方にお渡し申すのだ、己の馬車を貸すから此方と一所に乘つて行くがいゝ』此手廻しを見て鋼鐵王の顔には隱しきれない失望の色が浮んだ、奇怪な話である、自分の方に滯無く支拂が濟むといふのが嬉しくないと見ゆる、それは兎に角彼は辯解の必要があるやうに感じたらしく、『保部様、いや御主人、何卒惡しからず、年來御取引を願つて居りますがまだ一度もこんな事』と言ひかけるのを保部氏は押止めて『いや其御心には及びません、事務は事務、御懇意は御懇意ですから、私の方には如何にも支拂を致す義務があり貴方は又お急ぎでいらつしやる、何卒此者と御一所にロートシルト銀行まで御足勞を願ひます』客が出て往つた後で保部氏は堪へ難い好奇心で此處へ押懸けて來て居た行員を見廻して『さあ皆机に著いた／＼』言はれて我に返つたやう、大急ぎで夫々著席すると、もう彼方では帳簿がぱら／＼此方ではペンがしゆう／＼と鳴つて居た

●相撲の歌　京城 高須賀獸

ゆら／＼と押しに押されて大相撲見らばやつと寄るも人込みに押され
ぐつすりと小舍に集る人々に關取白く詭と動けり
据け縮し固めて眼を睨み合ふその一呼吸忘られなくに
張りつめたる心もてやつさひと押しに勝ちたるはまことに男なるべし
光りある男の如し勝ち誇る今の力士の顔はよろしも
四選ひに平蜘蛛の如く轉びたり吾が身いとほしと思はるゝならん

[illegible]外貨輸入にて[illegible]たるが大阪の成行及正米界の情勢等より見て到底保合な許す者とも思ばれず時が時なる丈大變動を演出するならん[illegible]謹て大なる者あらん

▲五日長盛設[illegible]八錢九錢平均値二十六錢（自）二十八錢七錢平均値二十八錢 出來高二千六百

後 先 寄 付 十九圓七十三錢 十九圓七十八錢 十九圓七十九錢 十九圓七十二錢 出來高 一萬二千五百五十石

●女姫嫉女を叩く

高陽郡漢之洞李江里李完鎔氏（二）は同[illegible]氏は[illegible]に陷らしめたるより告訴せられ[illegible]にて取調べの上送致

資本金壹百萬圓
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙
支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

大刷新 大改善 七月號 農業世界 ＝實益に富む必讀資料を平易に述べた良雜誌？
■若し日本が獨逸であつたなら？ 古在農學博士
△海產物取扱上の注意
△肥料を活かして使ふ工夫
△歐洲戰爭と我國產業の話 仲小路農相
■產業組合の今後為すべき仕事に就て
△秋蠶掃立前の注意
△水戸黃門御免の農婦
■田舍に任ずる在郷軍人の覺悟 福島大將
■農業倉庫設立に就いて 道家局長
■林野利用の急務
△東印度の農事現況
△優良青年團美蹟
△結球白菜の作り方
△七月の草花
△雨米で活動の邦人
■米の增收法
■茄の病蟲豫防法
定價金二十二錢 郵税一錢 博文館

廣告
當會社所有釜山埋築地發展のため本年中に於て家屋建造の方に對し六ケ月以上一ケ年以內地稅を除くの外無償貸付けをなす尚家屋建造資金融通の便法も有之候
詳細は御來談を乞ふ
大正六年六月
朝鮮釜山府高島町十四番地 釜山埋築株式會社 電話二八一番

參謀總長上原勇作閣下題辭 陸軍大臣大島健一閣下題辭 陸軍一等主計由田久太郎著
近時の戰爭
新刊 四六版並製 定價五十錢 郵稅金六錢 發賣
戰爭に關する唯一の虎の卷
開闢以來幾千年、世界の歷史は殆ど戰爭を以て終始すと云ふも妨げず。國家の對立と人類の生存とに於て、戰爭は到底防遏す可からざると共に、亦た之を豫知する事も到底不可能なり。大正三年以來繼續せる歐洲大戰亂の如き、誰か此事あるを豫知せんや。されば世界列國が常に平和の日に於て「戰備に汲々たるもの固より其所也。本書は戰爭の本義、戰爭發生の原因、戰爭の種別、戰爭勝敗の原因等に就て、著者が專門的知識を傾注して論明したるもの一般國民に對して戰爭に關する知識と概念とを與ふるに於て餘りあるのみならず、特に戰爭勝敗の因て以て因由に就ては、著者が軍事的專門の立場より見て、列國の情勢と日本の現狀とを對照し、痛切語以て我が同胞の發醒發奮を促して止まず。世界的大動亂の今日、六千萬同胞の必ず一讀すべき要書也。
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇番
發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

眼鏡專門 製作及輸入 宮川大學堂 京城府南大門通り一丁目 電話二九五九番 振替京城一一二九番
▲各眼病院眼科醫用達指定眼鏡調製眼鏡一切に關する質問を歡迎す
▲明細定價表を發行致し居り候

一金拾六圓七拾五錢也
右ハ元臨時土地調查局測地課技術員第二分所長代理金ニシテ今回京城佛教慈濟會行旅病人收容所ニ寄附候也
元土地調查局 木村源太郎

日錄到呈 京城本町二丁目 時計商 正午堂 電話長三〇〇番 振替京城三七二番

金一圓（非錢）送料共 實用適せずば返金 京城太平通二丁目 東亞藥報社 振替京城二一八五

最新刊
●ABC引日本辭典 井上博士 一、二〇
●改訂手形法論 青木徹二 三、三〇
●改訂新稿外國爲替 永野 二、〇〇
●農村社會學 小河原忠三郎 二、五〇
●國民物理學 日下部四郎太 一、八〇
●新訂六法全書 有斐閣發行 一、八〇
●情操各論 分冊一 末弘嚴太郎 一、七〇
●化學的食物研究 白話 南井山 一、〇〇
●日本溫泉案內 宇野哲人 九〇
●教育と圖書館 植松安 七五
●歐米新思潮 一、五〇
●南洋西ボルネオ 一、二〇
●和歌講話 若山牧水 八〇
●日蓮主義研究講話 本多日生 一、二〇
●現代日本文章軌範 内山舜 八五
●カラーマゾフの兄弟 上 米川譯 二、三〇
●離合 谷崎精二 一、〇〇
●人生の快樂 吉田絃 八〇
●野球年鑑 大阪朝日新聞 四〇
●十五代將軍 高濱虛子 一、二〇
●新和洋季節くの料理 松尾 一、〇〇
●水泳名手となるまで 諏訪多喜雄 三八
●支那の眞相 大河平隆光 一、七〇
●進むべき道 南部文一郎 一、三〇
●新譯韓非子 野中元三郎 九〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速且つ丁寧懇切を旨とし御高需に可應候
京城日報社寫眞製版部

京日案內
普通 一回前金五十錢　番外 一回前金一圓（匿名一回每に增し）
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず
▲六圓以上の御申込は特に割引
▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ
普通
◎婦人裁縫師入用 卅歲以上住込出來る者希望者は來談あれ 京城和泉町 電話四二二番 青春堂 242
◎讓店 市內目抜の場所にて飲食店の老舗歸國に就き至急讓り渡したし（姓名在社）243
◎勞働夫一名至急雇ひ入れたし確實なる保證人を要す希望の方は電話一八五番へ 244
◎簿記係入用 商地に經驗ある者 京城本町一丁目電話二四八番 佐藤商店 239
◎牛乳配達夫入用 希望者來談あれ 京城西大門外冷洞七六番地 東洋牧場 電話九三六番 241
番外
樂器萬年ペン物理機械瞻寫版の修繕 本町ウツボヤ書店工作部 電話二五二七 223

有給外務員募集 履歷書携帶面談の事 日本生命保險會社開城代理店 188

礦物定量分析 坂元分析所 朝鮮公論社左横小路 太平町二丁目 電話長二三四四 189

第卅九回特別帝國議會

貴族院（五日）

貴族院本會議は五日午前十時開會諸般の報告ありたる後

▲銃砲火藥取締法中改正法律案に關し委員長伊集院子爵登壇委員會の經過を報告し委員長の報告通り一部修正を加へて可決確定次に

▲工業所有權戰時法案は委員長柳澤伯より委員會の經過を報告し後ち若槻禮次郎氏より巴里經濟會議の決議事項中の敵對行爲に關し質問ありと述べ『巴里經濟會議の決議を實行するに當りて何故に緊急勅令若しくば法律を以てせず勅令を以てしたりしや』と問ひ仲小路農相より『今回の事は法律又は緊急勅令に依るべき性質のものにあらざるを以てなり』とて詳細に其の間の事情を述べ猶兩氏の間に二三の問答あり漸く討議に移り高橋作衛氏登壇國際法の通義に依る本案に對する反對意見を述べ之に對し河村讓三郎氏原案賛成演説を爲し採決の結果過半數を以て委員長報告通り原案可決確定し十一時四十五分散會せり（東京特電）

▲委員會主查互選　五日午後貴族院は委員會を開き主查の互選を爲せり（東京特電）

衆議院（五日）

▲豫算各分科會　並に特別委員會開會

衆議院は五日午後一時より豫算各分科會及び東洋拓殖株式會社法中改正法律案外七件に就ての特別委員會を開會せり（東京特電）

▲後藤内相彈劾

憲政會は五日左の如く後藤内相不信任決議案を衆議院に提出せり（東京特電）

決議案

内務大臣男爵後藤新平は自ら反省して速かに處決すべし

右決議す

理由

男爵後藤新平は大正五年六月の交滿蒙に於ける蒙古軍並に宗社黨と日本軍及び日本人との關係、山東省に於ける革命黨と日本人、日支衝突事件の眞相と題する印刷物を配布し（中略）該印刷物に記載したる事項は皆誣妄の妖言に外ならず（中略）新平は政爭の爲めに手段を選ばず國家の威嚴を傷け（中略）其の亂行斯くの如し斷じて台閣の重任に在るを許さず之れ其の處決を促す所以なり

支那の形勢

▲公使團の承認保留

北京公使團は大清帝國の承認を今後の成行を見る迄保留する事となれり（北京特電）

▲廣東臨時政府設立

宣統帝復位の報傳はるや廣東は絶對反對の氣勢磅礴し胡漢民、陳烱明、李烈鈞諸氏會同軍務署及び臨時政府を設立し岑春煊、陸榮廷兩氏を其の統帥に推せり（廣東特電）

▲段祺瑞氏の反對宣言

浦口に向つて去れる段祺瑞氏は復辟反動の宣言狀を發表し各要省に此旨打電せり（北京特電）

▲李八師長獨立宣言か

馬廠（天津附近）に駐屯せる八師長李長泰氏は復辟に反對し近々獨立を宣言すべく又段祺瑞氏は之れと同時に張勳討伐兵を北京に[illegible]しと（北京特電）

▲黎總統密使の依[illegible]

黎總統は二日午前密使を我が林公使に致し國政奉[illegible]等の斡旋に依りて爲されたるものにて南方は速かに[illegible]張勳氏[illegible]復辟反[illegible]義の旗を擧げよとの電報を黎總統の名にて打電すべく依賴し來れり（北京特電）

▲張勳兵北上を阻止さる

津浦鐵道の交通全く杜絶し北京に向ふ張勳將軍部下の徐州兵は山東督軍張懐芝氏の爲め進路を阻止せられ北上する能はず（北京電報）

○石井子へ御陪食

天皇陛下には五日正午石井遣米特派大使に對し御陪食仰付けられたり（東京特電）

○支那時局審議

臨時外交調查委員會は五日午後六時より外相官邸に於て開會當面の支那時局に就き審議したり（東京特電）

○首相山公訪問

寺内首相は五日午前八時三十分山縣公を訪問し内外の重要問題に就き會談せり（東京特電）

○上院補缺當選

有地品之允男爵任後の貴族院男爵議員補缺選擧は五日執行坂本俊篤男當選せり（東京特電）

○滿洲興業新設

今回資本金五百萬圓にて滿洲興業會社創立されたるが右は鞍山店製鐵所附近に家屋を新築し貸付くるを以て重なる目的とするものにて東京建物會社の安田系之れが中心たり總株數十株全部引受濟となれり（東京特電）

●復辟の經過と其前途

眞の成否は寧ろ今後に在り

支那今回の復辟は何れ早晩出現し來るべき問題なりし事は少しく支那に通じたる人々の察知する處なりしも其の斷行の急速なりしには何人も聊か驚きたる次第なり今此の

▲復辟の經過　を見るに其最近の根源とも見るべきは督軍天津集合の際なりとす當時徐州を出發上京せし張勳氏の兵の如きは既に長期滯京の準備を整へ來りたり之れ單に張勳氏隨從の任務以外何事かのあらん事を暗示せしものなりし事は勿論に時人の注意せし處なりしなり張勳氏が更に山東其他にて約一萬の募兵をなせし事も亦

▲不審の焦點　なりしのみならず當時某邦人が天津に於て某督軍と會面せし際督軍は某氏に對し復辟に對しては康有爲氏先づ方針を立て梁啓超氏之が運用策を廻らし張勳氏をして其の實行に當らしめんとし六月康氏は既に天津に來り用意をさ怠りなく彼の國會威嚇より倪嗣冲氏の獨立張作霖氏の旗揚げとなり次に各地應策して張勳氏の都入りと迄[illegible]立通りに成效せり[illegible]側にても既に其賛成[illegible]一名に及び居れりと語り[illegible]今回の復辟が突發にも非ざるを懷ふべし此の形勢直下の如き觀あるは共和政府に於て天津組が斯る大陰謀を計畫しつゝありし事を知らざりしにあらざれば此の復辟の根柢は却々深きものあるが如く新内閣組織行惱の結果に非ざるは明かなり然り而して

▲新政府の顔觸　れを見るに上奏文中に連名せし馮國璋、陸榮廷氏等は早くも新政府の大臣として發表されあるは稍々怪しむべき處無きにしも非ず若し馮、陸兩氏が既に此處に至る迄の聯絡を有せば軍閥に安徽、直隷兩派を統べ之に南方の盟主を加へ支那は殆ど全實力を網羅して

▲復辟に賛成　せし事となるべし然れども實際に於て斯の如く行き届き居るや否は疑問たらざるを得ず馮國璋氏は兎に角として苟くも南方派の重鎭たる陸氏が果して斯の如きか陸氏は元來張勳氏とは同門義兄弟の誼あるも主義として公人としての行爲を犠牲となすが如き卑しき人に非ず現に龍濟光氏は陸氏の姻戚なるも昨年之を討伐したる程の人なり此の人にして之れあるは

▲頗る疑問と　せざるを得ざるたるか或は支那一流の姓名利用手段に非ざるか要するに復辟完全の成否は今後に在り徒らに反對派に對して大義名分の好名目を與ふるに非ざるなきか南方派は共和擁護なる岑春煊氏の大傘下に義旗を樹て茲に再び支那は當分

▲擾亂の巷と　化すに非ざるなきか勢の赴く處に走るは支那人の特長なれば今後の形勢は漸く望觀の上ならでは何人も能く斷言する事能はざるべし（某支那通談）

●日滿貨物制限緩和

日滿聯絡十屯扱貨物の安東に於ける停滯の爲め曩に朝鮮鐵道發一日五百屯院線發一日千五百屯に發送を制限せられたりしが此頃に至り滯貨減少の結果院線發の分を一日三千七百屯限り發送し得ることゝなれり

●繭小包遞送

朝鮮各地の繭を小包として發送する量は逐年各道に於ける蠶業の發達に伴ひ増進を見居れるが遞信當局にては僻陬地に於て受附くる繭小包は短期間に多數の受託あると其の個數の割りに嵩高なると取扱上頗る注意を要するものある等のため必らずしも其の停車場若くば港灣迄の遞送は普通の遞送線によらず水路便若くば特別線及び特は人夫馬車牛車等を用ふる特別遞送方法をとり出來得る限り雨天の遞送を避けつゝあり而して右の特別扱ひは六月中旬より七月中旬迄之れを行ひ其の總個數約三四千個（一個四斗入）に及ぶべし尚ほ主なる出荷地は全南に於て麗水附近及び濟州島、慶南に於て晉州居昌慶北に於て青松英陽善山義城榮川奉化禮安安東江原道に於て春川襄陽原州京畿道は加平咸南は北青平北に於て江界楚山昌城朔州大楡洞平南の寧邊德川孟山孟遠弓波成川等にて慶北最も多く一箇所にて七八百個の依託を出すものゝ如し尚ほ其の仕向地は多く内地の豊橋附近なりと

●漢農增配乎

上半成績は良好

漢湖農工銀行に於ける上半期の成績を聞くに一般銀行の狀況と均しく朝鮮生産品の勝貫輸移入の活況に伴ない資金の移動頻繁にして相當の結果を擧げ其の貸出は期末現計三百九十萬圓にして前年同期に比し若干額の増加を示し又預金は二百卅五萬圓を算し之れを前年同期に比較すれば百卅萬圓の増進を來し結局純益勘定に於て三萬八千圓を算するも内二萬圓は固定貸しの消却に充當するを以て殘額一萬八千圓を剩す事となり之れを前期の一萬五千圓に比すれば三千圓の増加を見居れり尚ほ當期の配當は成績も幾分良好なると株主の希望もある事とて多分前期の四分より一分を增し五分とするか若くは五厘增しの四分五厘となる模樣なり

●仁川商議補選

仁川商業會議所評議員の補缺選擧は豫報の通り五日午前九時より仁川商業會議所樓上に於て執行せるが開票の結果左の諸氏當選せり

六十九票今村覺次郎▲四十三票矢上丑之助▲二十二票末永省二▲十五票百三十銀行仁川支店▲十一票李東皓▲六票金斗基

右總投票數内地人百七十一票鮮人十九票なり（仁川支局）

●朝鮮鞋製造組合計畫

子爵閔丙奭、柳秉秀、李哲宗、張[illegible]、[illegible]、文泰榮、朱性根、金東漢、[illegible]、金在泳の九氏發起にて出資總額五萬圓にて朝鮮鞋製造組合計畫あり去る二日東大門内居住前楊州郡守たりし洪奏潤氏方に於て第一回の協議を爲せるが不日實行に着手すべしと

●引換代金換算率

東清及び烏蘇里鐵道著の場合に於ける日滿貨物引換代金換算率は六月二十九日以後日貨百圓に付露貨二百十九留なりしが七月四日より十五留低落し二百三十四留に變更されたりと

●新田技師着任

鐵道局清津出張所長鐵道局技師新田留次郎氏は本局勤務を命ぜられ三日午後着京四日より昇廳勤務せり

●瀧田一等軍醫轉任

龍山軍司令部員二等軍醫瀧田次郎氏は去月三十日附を以て一等軍醫に進級し同時に[illegible]城歩兵第六十四聯隊附に轉補せられ不日赴任すべしと

□重要電報＝欄外にあり

人事消息

▲行弘[illegible]氏（麻生鑛業會社支配人）五日夜入京浦尾へ

▲渡邊利作氏（與記號）同上

▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商議會頭）同上

□南言北語□

某米人が過日大隈侯を訪問して支那には安じて放資する事は出來ぬと暗に支那の指導は日本に待つ外はないと云ふ樣な事を諷刺すると▲隈侯忽ち我意を得たりと云ふ見得で大きく肯いて見せ▲相手が去ると傍人を顧み支那の今日あるは吾輩既にから知つて居たんであるんである▲彼の對支交渉に於て第五項を提出した所以も實に今日に備ふる爲であつたんであるんである▲彼の時第五項を實現すれば今日の難局を釀成するに至らずして濟んだんであるんである▲帝國の對支策は唯善意の援助あるのみであるんであると大きな顎を上へ向けにツルリ▲段祺瑞君の一派及び南方派は戈を取つて蹶起するらしいサア愈々事だ張勳老の北京からの睨みが利くか何うだか▲復辟と云へば例のハイラルの蒙古軍も大活躍を始めるに相違ない▲同軍中には二十餘名の日本人の客將が居る筈だ▲之等の連中は既に我政府から保護權抛棄の公文通牒を受けて居る筈だが▲卽ち之で一面から云へば彼等は自由の行動が出來る譯だから時節到來を喜んで居る事だろう▲此の向で進むと北京を中心として支那は東西南北が亂れはすまいか▲政友會本部の建物は古くつて少し強く歩くと廊下などは動搖する▲改築問題が話頭に上ると岡崎邦輔君曰く▲譯もない話だ我輩に請負はせばスグ解決する自動車で四五軒も廻ると五六萬圓は半日仕事サ▲平素法螺にかけては人後に落ちぬ陣笠連も度膽を拔かれて目計りパチクリ〳〵▲衆議院の食堂で三木武吉君が食事をやつて居る處へ伊東知也君が來て▲『オイ穢多村ぢやないか』と冷かすと三木君は眞ッ赤になつて▲『君の方の穢多村では御用を承はつたぢやないか一寸は甘い酒にでもあり付けるか』▲と來たので流石の伊東君もサツと顔を赭くし隅の方でライスカレーをやけにカチ〳〵

○倪督軍徐州を衝かん

○張勳討伐軍出動準備

[illegible]兵は張勳氏よりの急電に接し北京に向はんとせしも張督軍の第二十七師兵は背後を衝く恐れある爲め新民府と山海關との間を[illegible]張督[illegible]

○[illegible]

[illegible]日召集し同職員選擧を本年九月三十日執行する旨公布したり（臨時電報）

時計卸商

登録商標

京城黄金町二丁目 喜多金光堂

電話一〇一五・替振京城七八二

内科小兒科 入院隨意（普通病室並に隔離病室）

京城旭町一丁目 小林醫院

醫學士 小林千壽

電話六九二番

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店

電話 一四四八番 四五九番

振替京城五七番

…に決し張勳氏に向け復辟斷行の詰問的電報を發り同時に自己の率ふる第二十七師兵をして討伐に向はしむべく準備せり而して張督軍と常に反對の地位に在る馮麟閣氏は張勳氏に加擔し其の第二十八師…第直ちに張勳討伐の師を起し先づ徐州を衝くべしと傳へらる（上海電報）

○露國憲法議會召集布告

露國臨時政府は命令を以つて憲法制定會議を本年十月十三日に…

段祺瑞、湯化龍の二氏は二日南下せるが這は山東督軍張懷芝氏の招きに應じ濟南に赴き張勳討伐を議せん爲めなり（北京特電）

◆隠れたる復辟の發頭人

康有爲と清皇室（下）

光緒帝無二の股肱＝某支那通談

康有爲君が折角の密謀＝光緒帝を戴いて天津から袁世凱氏の兵を率ゐて入京し一擧に西太后を廢しやうと云ふ大陰謀は見事に破れた其れは袁世凱氏が約束をして置ながら其の間際になつて忽ち寢返を打つて事の次第を西太后派に密通したからだつた西太后は震怒して直に光緒帝及び康有爲君逮捕の命を出して寵臣榮祿は手兵を提げて光緒帝を襲つた折節

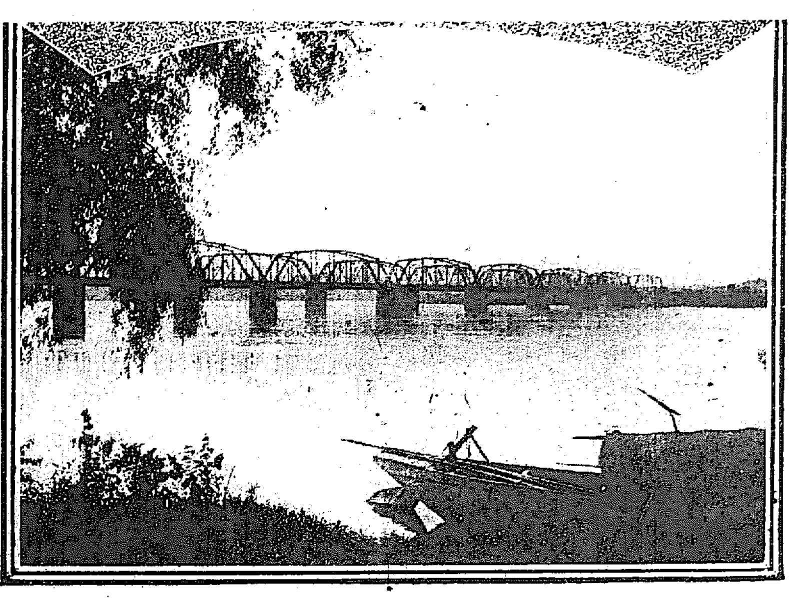
帝は御學問所▲▲で康有爲君と常の如く種々の計謀を熟議せられつゝあつたが俄然榮祿の兵は其處に飛び込んで速に帝を捕へ宮中太液池なる瀛臺に幽閉し奉らんとした康有爲君は慌てゝ帝の袞龍の袖にすがり『陛下よ余を捨て給ふか何處の果てまでも、御供し奉らん』と涙と共に申上げると帝は色を正ふして『朕迷ふたるか康有爲朕既に

西太后の毒牙▲▲に掛り瀛臺に幽閉の身となる上に卿迄此世に在らずば二人の命は惜まねど天下國家を如何にする變法自强の大業を如何になすか一衣帶水の日本には朕が變法自强の大業に就て同情を寄する志士少からずと聞く卿宜しく身を以つて免れ日本に身を寄せ徐ろに後圖をなせ卿が至誠至忠之に過ぐるものあらじ日の東に昇る時

卿日本▲▲に在りと思はん日の西に沒する時朕は瀛臺に在ると知れ」と宣はせられて瀛臺幽閉の身とならせられた實に一場の悲劇である康有爲君は涙を拭ひつゝ間髪を容れぬ危機の間を辛くも日本に逃亡して仕舞つた其後日本にあつても康有爲君は常に改革を志し或る時は光緒帝を促がして日本に行幸を請ひ日清兩國君主の握手を計畫した事もあつた

此計畫▲▲は支那では康有爲君一派の人々と日本では某々華族及び有名の有志によつて企てられ大分進捗して居たが或事情から水泡に歸した其れ以來康有爲君は夢寐にも改革を忘れなかつたが支那は遂に中華民國となり清皇室は事實上世上から葬られて仕舞つたので密かに復辟の大志を懐きつゝ南方で閑雲野鶴を友として久しい間

風雲を▲▲傍觀し▲▲て居たが端なくも先達の政爭から共和制の無力を看破し機乘ずべしとなし强兵の張勳氏を說破して乾坤一擲の大事業を成功したのである康有爲君と清皇室とは斯う云ふ頗る厚い關係があるのだから今度康有爲君が掉尾の大活動をして張勳氏に復辟を慫慂したのは何の不思議もない



◆漢江の増水　▣漸く減水の傾きあり

◉清涼飲料水の取締

京城本町警察署にては六月二十八日より七月二日迄當非番巡查全員を以て管内氷雪清涼飲料水營業者の店に臨檢し腐敗又は沈澱物多き飲料水には任意拋棄せしめしが其の戸數としてはラムネを棄てたるもの三十九戸、蜜柑水同じく四十四戸、葡萄水二十戸あり其他一二種類苑を拋棄せしものは頗る多く其の種類二十二種に達し居れり而して屆出でをなさず營業せし者內地人十名、朝鮮人二名あり用具の不潔なりし者、防蠅設備なきもの、鑑札なかりし者等は夫れ／＼取締りを受けたり

◉朝鮮軍人の身投げ

清州憲兵隊附＝增水せる川に

清州忠淸北道憲兵隊附陸軍參尉李奎鎬氏は四日午後四時退廳の際折柄增水せる無心川の堤防より投身自殺をなしたるが死體は五日正午家人發見し引渡されたり原因に付ては種々の噂あり取調中（清州通信員電話）

◉身を沈めて病夫を助く

不幸なる家庭の悲劇

石川縣珠洲郡時島村上原清三（三〇）は大正三年中鄕里で妻はな（三五）を迎へ兩人の間にやす（三）と言ふが産れ此の春迄忠清道の某郵便所に事務員として勤務し

▣**薄給ながら**一家は圓滿に暮して居たが、清三は其の内に他人から嫌はれる病氣に罹り勤めも出來ずはなは夫大事に介抱すれど醫藥とても不便な山奧のことなれば

▣**病氣は次第**に重くなるばかりなので、物の便利な京城の醫院へ入院させやうと妻のはなは旅費も無いのに辛つとのことで數日前娘やすを背負ふて只の一人知る人もない京城に出て來ていろ／＼と聞いて廻つた末夫を

▣**總督府醫院**に入院させやうと決心した、けれど先立つものは金であるが、本籍地に送金方を依頼しても實家も應諾するだけの餘裕もなくさりとて夫を其の儘にして打過すのは妻として忍びず

▣**如何した者**かと狭い女心に思案の末、今は切迫の際だ夫の犠牲と諦めて京城で娼妓に身を沈め其の金で入院加療せしめやうと決心したが元來田舍に生れて土地の小學校を

▣**卒業したばかり**のはなには娼妓などの經驗はないけれども今は大膽に決心し縦令身は穢れても夫の生命には代へられないと思ひ定め其の手續に就いて其の道の人に訊いて見れば

▣**夫のある身**には娼妓稼業は許可されないと聞き更に落膽したが夫れでは身の振り方に就いては夫と相談の上決めやうと同情ある人々に賴んで一先づ僅かの金を借入れ夫を

▣**旅費として**夫の許に立ち還り再度病夫を伴つて京城に來り兎に角夫清三を總督府醫院に入院させて目下同人は加療中であるが、娼妓になれない同女は今は詮方がないから夫れでは飲食店に

▣**酌婦奉公で**もしやうと決心してゐるけれど子供の始末に困つてゐると言ふ話を聞き込んだ見ず知らずの人たちから明治町に居住してゐる小山じゆんと云ふ婦人が進んではなに面會し快よく

▣**子供を引取**つて養育してやるといふ事になつてはなも安堵の上愈覺悟して去る四日入居の手を介して京城で奉公口を探して見たが京城では女が多いから澤山の前借金は出ないといふことで夫れでは

▣**田舍に定まり**京釜沿線の某市街地飲食店の酌婦に棲込むやうに話が纏まり結局僅か數十圓の前借金で身を沈めることになり內三十圓ばかりを入院中の夫の手に渡し

▣**手數料其他**を引き去られた僅かの殘金で身裝を整へいたいたしい病の夫と可愛い娘とを後にして…日南大門驛を出發した

東京大相撲

＝千秋樂＝

明治屋の惣見　一行の仁川行

▲午前中甚だ不景氣に見えた五日の千秋樂も正午を過ぐると客足次第に多く場内の各棧敷は黒くなつた▲それでも遂に大入とまでは行かず約六分の入であつたが明治屋が招待した京城の各新聞記者、通信雜誌社員の總見があつて花月の選抜きの綺麗どころがその色彩を艶ならしむるあり▲その他各棧敷共に三券藝妓連中の美しい顔を揃へたるがあつて頗る賑はつたが相撲は千秋樂のせいか餘り活氣が無く見物の彌次も尠かつた▲本社の好みは荒玉に矢筈山の十兩新進同志であつたが、大兵荒玉のため堅剛の矢筈もよく戰つたが寄り切られて終つた▲京城の天地に活氣を漲らせた大相撲も太刀山伊勢の濱の一番で終りを告げた弓取りの式があつて目出度く千秋を告げた▲一行は午前七時南大門驛發の汽車で仁川に向つた

勝	負	勝	負
五島	浪花川	敷ケ嶽	太刀ケ峰
土佐ケ峰	登浪山	鶴泉	岩ノ香
若太刀	軍扇	相ノ浦	若熊
友鶴	太刀湊		
和合浦	若嵐	金ノ鯱	室戸崎
太刀光	遠州洋	甲斐山	龍ケ瀧
小嵐	太刀海	筑後川	眞根松
太刀嵐	友の山	矢筈山	火打洋
▲中入後			
國見崎	四國洋	荒玉	友渡り
清瀬川	若島		

三役

敷島	―	紅葉川
土州山	―	黒瀬川
太刀山	―	伊勢濱

右の内▲四國洋に國見崎は立ち上りさま四國突掛けて左四ッとなり暫時ノロ／＼と寄合ふ内國見機を見て吊り出して勝▲荒玉に友渡は立上るや友敵の右手を取つて突きのけ西溜りへ突き出しての勝は呆氣なし▲若島に清瀬川は立ち上り右四ッ清瀬適二無二寄り立つるを若士俵を廻つて殘しつゝ廻り込まんとするを清瀬川寄り出して勝▲敷島に紅葉川は立上るや紅葉素早く飛び込んで敵の差手を曳張り込み褌を引かんとするを敷差させず右四ッとなり紅葉吊りに行くところを反對に吊り出して敷島の勝▲土州山に黒瀬川は立上り突き合ひ土州の右差しにて黒瀬川は下手投を打ちて土州の勝▲太刀山に伊勢の濱は立ち上るやバッタリ左四ッとなり伊勢敵の右手を引いて下手投を打たんとするを太刀殘しつゝ正面溜へ寄り詰め伊勢弓なりになつて土俵際に堪ふる所をそのまゝ突き放して太刀の勝に友の山の鮮かなる弓取の式あり四時三十分打出したり

◇大相撲スケッチ＝四日目＝

◉月蝕

五日の月蝕は豫報の如く午前四時…京仁地方では…雲に遮られて見えなかつたが…分で月の入りとなつた、今回の月蝕は皆既蝕であるが本邦では部分に於ては月入後となつて觀望する事が出來ず僅に中國西半部四國の西部を初め其以西の各地に於ては皆既として見る事を得たのみである

◉嫉妬の放火

…郡…面…里農金奉鎭（二…）は…同里…方同居中同人の長女…と…氏と關係ありたるが其中…氏は上道面…里…に嫁したるより之れを怨み六月二十五日夜…方に放火したるも消止められ…城分隊に逮捕さる

◉電車怪我二つ

三日午後一時頃京城青葉町三丁目具鈞瑞（五四）は荷車を曳き南大門通りを通行中龍山行の電車に衝突し轅棒を折られ右手に負傷し岡崎町の醫院にて手當を受く▲青葉町三丁目田中嘉一（二三）が一日午後五時古市町にて龍山行の電車に衝突し後頭部に輕傷を受く

◉醉ふて豪雨中に倒る

京城蓬萊町四丁目飯塚齒科醫院雇人趙進成（二六）は三日午前十時頃一頭の馬を連れて清涼里に行き酒籠にて多量の酒を飲み泥醉の上折柄豪雨中に數時間路上に打倒れ人事不省に陷り居たるを憲兵が救助して手當を加へ辛くも生せしめ翌朝家人に引渡したり

◉老人を叩く

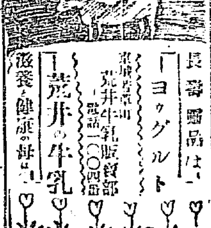
咸北鏡城郡朱乙面次鄕洞農車奉孫（三六）は去る三月四日朱北面接三洞朴慶七方にて賭博中同洞宋宗元方の雇人池明元（七三）より九圓餘の現金を窃取されたるを龍り打して報ひ返したるも明元は夫れが爲め同月八日遂に死亡するに至りたるより奉孫は檢擧され此程咸興地方法院の公判に附せらる

◉縊死

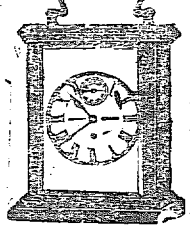
高陽郡延禧面望遠里農升泰源（四二）は妾を蓄へて亂行の數を盡したる末生活難に陷りたるを悲觀し三日午前六時頃今井洞の山中にて縊死を遂ぐ

◉憲兵隊非常

…憲兵隊司令部…は來る八日…を…催すべく目下…選定中なりと

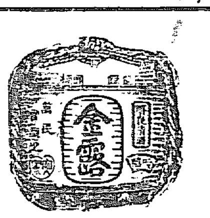


十八金製　平入指環　金圓以上
純金製　高彫八圓以上　指環
十八金製　六圓三十錢以上　根掛
純金製　十八圓以上
地方御注文は代金引換小包便にて御送附申上候
京城本町二丁目
村木時計舖京城支店
電話四七一一番　振替京城三一九〇番


中元御贈答品の色々
朝鮮美術同好會

移轉廣告
總てに便利を圖る爲め本會事務所を中央の位置たる京城本町二丁目八十七番地（元千代本跡）へ七月一日移轉仕候間此段廣告候也

眼科專門
江頭眼科醫院
入院隨意
京城明治町東拓横（電話二四四番）
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄


攝津灘
大塚釀造所吟製
京城本町二丁目
賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
和洋金物一式
佐藤半次郎商店
京城本町三丁目　電話二四三番　振替京城一三〇番

國產
優秀卓絶價格低廉
白檀油代用藥
ゴノサルビン
內服治痲劑として其効果を公認せられたる白檀油と化學的集成た密うす治療的効果白檀油と相伯仲し然も消化障碍なき特徴を有す
本邦產植物より發見せる純國產なれば價格低廉
夫故に本品は最も優秀卓絶なる
白檀油の代用として好評嘖々たり
發賣元　三友製藥合名會社　大阪市外中津町光立寺
特約店　大阪道修町武田長兵衛　東京本町小西新兵衛
文獻及見本醫家ニ限リ本社ヨリ進呈ス

資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話長五八番　貯金京城一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

產科婦人科專門
京城明治町二丁目（元漢城病院下横通川崎大正醫院南）
中央婦人病院
（手術室病室各等完備）
院長　衣笠
電話二三四〇番

花笠　松田竹の島人作

(四六)

荒物屋の主人は、早見が又も迂疎をいふて、部屋代を斷るので、愛想氣のない顔を一層愛想なく爲て、

『毎も〳〵同じことばかし言つてゐては困りますがねわ。道樂に二階を貸しとくのではなくつて、懷都合が惡るいので、幾らでも取らうてツて貸しとくのですから、其貸賃を引ツ掛けられると、全く困つて了ひましてねわ』と困る〳〵を續けていふて催促を爲る。

『いや什麼も何んとも濟まんことでして……間違ひなく近日金が入ることに爲つてゐますから、入りさゑ爲れば、直ぐ上げますからね』

早見は、這麼迂疎には經驗がないらしく、顔を赤くして、究も極りが惡るさうであつた。

『近日といへば、明日も近日ですし明後日も近日ですが、一體何日のことを言ふんですか。的に爲てるのですから、間違ひなく正確と爲たところを言つて下さらないと困るんでしてね……ぢや憑う爲やうぢやありませんか、明後日中に御貰ひ申すことが能きませんでしたら、外へ移轉して戴くといふことにね。私も貴方のやうな方に貸したのを不詳と諦めて、外へ移轉して下されば、今月分を棒引きに爲て了ひますよ』

『近日といつたところで、明日か明後日と判爲分らないですが、屹と近い中に入ることに爲つてゐますから切望それまで待つて貰ひたいですが』

『其麼曖昧なことぢや困りますよ。其金が間違ひなく入るとしたところで、それで今月分御貰ひ申すと爲て、來月が又這麼ことだと、遣り切れませんからね。』と主人は因業なことを言つて、煙管を角火鉢の緣へ叩いて、吸殻を落した。

早見は、金のない者人世の悲慘事はないと、沁々感じた。此處に移轉して來た時、二箇月分の部屋代を、前金ですぱツと拂つて遣つたから、其の當座といふものは、やれ茶を入れたからといつて、茶菓子を添へて持つて來たり、やれ蕎麥を爲たから晩飯の副食物にといつて持つて來たり爲てゐたのが、今月に入ると、部屋代を遣らないもんだから、斷然熄めて了つて、厭やに當て擦りを言つたり爲るやうに爲つた。當て擦り位ならば、未だ可いとして、憑う膝を突き合せて、嚴しく催促するに至つては、金錢の爲めに其の心を變へる人間程淺間しいものはないと思つた。けれども世痴辛い當節柄、人情も變機も捨て、此位薄情に爲なければ、立ち住かないものだから、敢て此荒物屋の主人の薄情ばかりを攻むる譯にも往かないと思ひ直してもみた。

『來月からは、這麼ことのないやうに、正確と入れることに爲ますからねわ。』

『大丈夫ですかね?。金といふものは、間違ひないと思つて、的に爲てるのが外れたがるもんですからねわ。餘計なことをいふやうですが、働き盛りの貴方ですから、何處にか勤めたら可いぢやありませんか、巡査にでも爲つたつて、月に十五圓や二十圓に爲りますからね』

『御厚意は有難いですが、少し考へてることがありますからね。』

『考慮へることゝツて、甚麼考慮だか知りませんが、下手の考慮休むに似たりといつて、碌な考慮が出るもんぢやありませんよ。今朝郵便局の前を通ると、集配人募集と書いた紙が貼つてありましたが、あれなんざ字が少し讀めて、足さへ達者なら、誰れにでも能きる仕事ですから、何んなら往つて訊いて見たら什麼ですか?』と主人は莫迦に親切つたやうなことを言ふ。

西洋料理　アイスクリーム　おいしい事京城第一と高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

◎艦長の拍子拔

帝國海軍練習艦隊が六月三日に布哇ホノルヽに入港した時の在留同胞歡迎會は盛大なものであつた處が軍艦拜觀を許さるゝ事になつて在留の一日本婦人が旗艦常磐に來て是非軍艦旗を拜ませて呉れとの事司令官岩村少將艦長谷口尚眞大佐共に感心して言ふが儘に艦尾に案内せしめた處が此の婦人は天理教信心から半狂人になつて居る事が判つて司令官も谷口大佐も少し拍子拔けの體

一日一句

水邊の草に歌よむ明易き　魚骨
松の根に蟲入りし清水かな　浩一郎
蝿吊るす玄關暗し燕　案山子
雨戸開けて下駄杜松の芽に立つ　黄丘

○對坐吟

俳諧に迫はるゝ自分等が所謂ほず落合つたが最後早速即吟をやることにした、座に掲ぐるのが即ち二日の午後七時に星二樓居に於ける其の最初の試みなのである(乏)

○雲の峯

航路に立つ雲の峯波靜　玄到
鯨に舞ふ魚漁村と雲の峯　同
兎角して頂を極めぬ雲の峯　同
玄海の怒濤艦下す彦太郎　同
巡業の力士迎ふや雲の峯　同
岩崩す工事の音や雲の峯　星二樓
壯圖明す辭郷や雲の峯　同
雲の峯南山は鬩く北漢は尖りけり　同
雲の峯野拓いて民を移す計　同
怪鳥に挑擬す嶺や雲の峯　同

山羊乳　諸官衙御用達　京城獨立門東側　山羊牧場　電話一七七二番

新刊紹介

▲米國經濟事情研究(神戸高等商業學校教授内池廉吉著)　千九百七年十月紐育市場の驚恐惱以來專ら對内經濟政策に沒頭せし米國が偶々今次の歐洲大戰に會し一轉して其の政策が對外に移轉しつゝあるに至れる過去數年間の消息中重要なる經濟事項に就きて調査したる著者の論文を類別蒐集せるものにして第一編には米國に於ける經濟的並に政治的思潮の變遷、支那人排斥問題、日本人問題の隘路を論じ第二編に於ては所得税法國庫制度、豫算制度より貨幣法、英佛公債の成立、農業信用法等に渉りて米國の財政及金融の實情を詳説し第三編には棉花、農産物、特殊會社、トラスト等に關聯せる各種の產業問題を收めたり蓋銀行組織の改善、トラストの制御、及一般經濟的弱者の救濟に關する社會政策は過去數年間に於ける米國經濟界の重大問題たりしものにして本書が特に此の點に深甚の注意を拂ひしは又以て我が國現下の社會政策及經濟政策に裨益する所鮮からざるべきなり(一圓八十錢東京日橋本石町三東京寶文館)

▲平壤風景論(小田源藏里著)　著者は主として平壤誌に採り更に東國通鑑外記按譯等三國史記等を渉獵し專ら正史的部分の精査を進めて編纂せるものにして第一編總論には平壤の歷史を大觀し第二編に於ては山水城郭江河港浦樓臺寺院等の史實に就て平壤の造化上より觀たる價値を論じ第三編に入つて太古、高句麗、高麗、李朝各時代に於ける歷史的價値を論じて名所古蹟、陵廟祠墓、宮殿樓閣等、寺院佛塔等に及び第四編文事に現はれたる平壤には詩話、古事傳説、詩文、碑文等を收めたり故に單に風景論たるのみならず又平壤史として其の質を有し人をして朝廟の興廢、人事の變遷上下四千載に渉る懷古の情油然として起るを禁ずる能はざらしむると共に彼の悠々たる江山逸水永稱靈閣を眼前に髣髴たらしむるものあり(一圓京城黃金町二朝鮮研究會)

▲新式圍碁寶典(第六)　三部門に分ち戰爭の部に在ては征、門、抑つぶし、追落し、鶴の巣、攻合ひの練習問題を設けて之に解答を與へ布石の部に於ては隅打り、掛り、拓き、尖みの實例及石の名稱を說き打碁の部には八日、七日、六日の對局に就て述べたり依例說明平易能く有段挑戰の基礎的本手を盡せり初學者は之を以て完結す(六十錢東京日本橋北新町一〇大阪屋號)

▲最近警部考査、巡査部長試驗問題集　最近六年間朝鮮總督府、關東都督府、臺灣總督府其他各府縣に於て施行せられたる警部考試並に巡査部長採用試驗問題を類別排列法令に依る試驗準備したるものなり(一二十五錢東京愛宕町二日本警察新聞社)

▲肥料の選み方(吉永千代吉著)　肥料其の他の名稱に就ての選擇法及製法等に關しての範圍を大別し通俗平易に記述せり(二十錢東京小石川原町一〇　日本園藝研究會)

讀者の領分

▲一公民君の滯納者攻擊中に本町の實業家に關する事があつたが若し事實とせば吾々本町住民の體面に關する大問題であると思ふそれでなくも近來京城には泥硯商人氣質といふ風評がある其風評は吾々本町住民に對して決して名譽ある風評ではない實に忌むべき風評である世間では泥硯商人氣質といふことに依りて商人の最も忌むべき形容詞に代用して居る吾々は此機會に於て同町の諦を以て大に改革論を起さうではないか(泥硯一商人)

▲狂犬病は恐しいが犬殺が白晝往來の眞中で犬を殺す所を見ると殘酷といはんか何といはんか實に見るに堪へない私の娘は犬殺を見たといふて顏色蒼白となつて歸へつて來た小供ばかりではない大の男子でも決して不快の感を免れ得ない何とか外に方法はないか知ら(博愛家)▲明月館前の廣場に立てる人力車賃金揭示板に依りて車夫に支拂ひたるに車夫は御戲談でせうといつて何時かな玄關を立去らず甚だ當惑致候賃金率が近來高くなりたるや或は車夫が不當なるや何れにしても宜しからぬ次第に候　致て本欄の諸君に御報告致候(京城新米)▲近來鮮人家屋に大抵便所の設備あるに至れるは結構なれども肝心の蓋が無い爲めに蠅軍が木戸御免にて出入して居るは甚だ缺點を缺くのだ殊に此頃の溫氣に惡臭路の人の鼻を衝くは閉口である(潔癖生)▲貴紙朝刊二面に近頃から御掲載の小說『誰』は未だ二回しか拜見せぬけれど頗る面白いので私は每朝貴紙の來るのを待ち兼ねて必ず一番先に『誰』を讀みます諸君も是非見落しのない樣に御覽なさい實に面白いですよ(愛讀者の一人)

商況

下關期米特電

五日後場　[illegible]

仁川期米

▲五日後場(保合)▲大阪前止二十三圓八十三錢の移り後崇米不申中十九圓二十七錢より六錢[illegible]九錢と戻し六錢と押し七錢[illegible]ぬるも買[illegible]　寄米著十[illegible]七十三錢と小出く寄付たるが⊖の其他より買物多く直に八錢と上伸し五錢と押したるが大阪跡高を移し更に九錢と上伸したるも⊖の今北他より賣向ひ無稽にも上伸せず八錢と軟含を告げたり市況に安直に賣物週なると同時に高値買物週にて結局保合に終りたるが人氣は依[illegible]

▲⊖同店の賣千餘石買千餘石
▲⊕同店の賣二三百石買千餘石

▲依然氣迷ひ　前場氣迷ひの相に戻合したるが後場も天候依然後天小雨降り時候線を呈したるも正米[illegible]

▲大阪の放行　空前の高値を示現したるも直に押し目先小天井を作りたる[illegible]は根底中々强硬にて[illegible]

石△先限⊖十九圓七十三錢四厘五錢六錢七錢八錢七錢八錢七錢六錢⊖七十六錢五錢六錢⊜七十七錢八錢七錢二錢六錢八錢九錢八錢七錢⊜七十七錢八錢七錢八錢八錢七錢

五日の九月限

七月限　賣買取組高　六千五百石

平均値段	
一節	十九圓七十五錢
二節	十九圓七十六錢
三節	十九圓七十七錢
四節	十九圓七十七錢

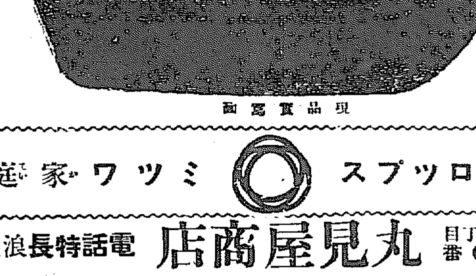
里金成妻鄉氏が羅氏の實父羅應詰の惡口をなしたりと疑ひ之れを自白せしむる爲め六月十六日羅氏父[illegible]局へ送らる

ミツワ石鹸

純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹸なりとす。『フェノールフタレイン』を以て、皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

○ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし
故に、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。



現品實寫面

種類	定價
大形家庭用	定價金貳拾錢
中形携帶用	定價金拾參錢
小形旅行用	定價金拾錢
極小形旅館用	定價金五錢

肝油ドロツプス　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　振替東京一七〇番　電話長浪花特四四四八番　四四九番　四五〇番　三〇番

朝◇鮮◇彙◇報

朝鮮彙報　大正六年七月號(定價貳拾五錢　郵税二錢五厘)

主要目次

口繪　釜山第二棧橋、泗川新寨の城址　小鹿島慈惠醫院全景、金剛山の森林

□典獄に對する總督訓示
□道慈惠醫院長に對する總督訓示
□面制に就て……宇佐美内務部長官
□朝鮮に於ける陸地棉の產額增進に就て……中村技師
□天佑の有無……村上文學博士
□發電水力調査(承前)……遞信局
□大正六年度朝鮮總督府追加豫算綱要
□同朝鮮總督府醫院及濟生院特別會計追加豫算金額表

行政　癩病患者救療狀況◎全南の面吏員選獎及篤行者の事績◎平南北道行政區域名稱一覽表　財政及金融　大阪對朝鮮貿易◎四月中朝鮮經濟概況◎五月中朝鮮貿易　產業　工產物調◎桑田の增加◎下付樹苗成績◎優良稻の普及◎漆木の養苗並木養成成績◎樹苗圃產ゴム類に關する調査◎商業會議所一覽　交通及土木　朝鮮に於ける電話事業の過去及現在◎遞信事業概況◎五月中の鐵道運輸　學事　留學生の表彰◎普通學校教員朝鮮語講習狀況　司法及警察　戰時に於ける經濟事情と犯罪の關係◎戰時に於ける特種犯罪　研究資料　朝鮮の漆器業に就て　外國事情　浦潮通信◎滿洲隨行日誌の中より◎地方通信◎雜報◎叙任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例◎朝鮮彙報大正六年(自一月至六月)總目錄

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
▲販賣店　朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

大邱浦項間自動車時間　上り　浦項發　下り　大邱發　[illegible]　大塚農場自動車所　大邱出張部　電話一一七番

醴泉金泉間自動車發着時間　上り　下り　[illegible]　金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

共同汽船仁川出帆　阿波共同丸　七月八日午後入港　第廿共同丸　七月十日前十時出帆　○芝罘、大連行　本町四丁目　阿波共同汽船株式會社　仁川代理店　野口商會(電話一七三番)　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　七月十二日後五時出帆
元山、清津、雄基行　立神丸　七月廿三日後五時出帆
和歌浦丸　七月廿二日後十時出帆
立神丸　七月十一日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　月日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　月日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天眞丸　每月一日九日十四日廿一日廿六日(午後十時出帆)
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
○忠清丸　七月十四日　釜山發
○京畿丸　七月九日　元山發
○柳川丸　七月九日
○成鏡丸　七月十九日
○慶尚丸　七月[illegible]
○三浦丸　七月
○城津丸　七月　[illegible]
○慶興丸　七月　[illegible]
○盤竹丸　七月　日　釜山發
○江陵丸　每　日　釜山發
○咸陽丸　七月　日
○昌平丸　七月　日　釜山發
○濟州丸　七月　日　釜山發
○統營丸　每日　釜山發
○平壤丸　七月　日　元山發
○天草丸　三日目每に　木浦發
○南陽丸　七月　日　木浦發
○金泉丸　七月　日　木浦發
○金浦丸　七月　日　木浦發
○公州丸　七月　日　木浦發
○清水丸　七月九日　仁川發
○宗信丸　七月　日　仁川發
○全州丸　每日午前　仁川發
○錦江丸

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸　七月　日後四時出帆
大有丸　七月五日後四時出帆
秀吉丸　七月　日後四時出帆
神代丸　七月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽(天津)牛莊行
相模丸　七月廿六日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　七月十五日正午出帆
仁川海岸町十二丁目　電話　回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路(連絡航路を除く)間連絡者乘船の時は五分引(連絡切符發賣は除く)
◎神戸、大阪行　釜山丸　七月十四日後二時出帆
△南浦丸　七月十七日
×油頭丸
○神戸、大阪行　油頭丸　月日後五時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、神の浦、長崎行　安東丸　七月五日後二時出帆
×安東丸　七月卅一日
×安東丸
○横濱行　福州丸　七月十五日後二時出帆
×遼州丸
△福州丸
◎南浦行　南都丸　七月十四日後二時出帆
◎臺東丸　七月十一日
△鎮南浦、大連行　安東丸　七月十日後二時出帆
×安東丸　七月廿六日
◎大連直航　遼州丸　月日正午出帆
×福州丸　月日
△福州丸
◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆)　宮島丸　七月十日後十二時出帆
◎清津行(元山出帆)　宮島丸　七月廿七日後十二時出
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)　湖北丸　七月廿三日前五時出帆
基隆丸　七月七日後四時出帆
御注意　●鮮滿鐵道及び京釜線沿線各驛と連絡切符發賣致候●御乘船の節は一時間前迄に乘船せられ度候●△印は船客御斷り●×印は一等客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二〇番、五八番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開要旅館　電話二六一番